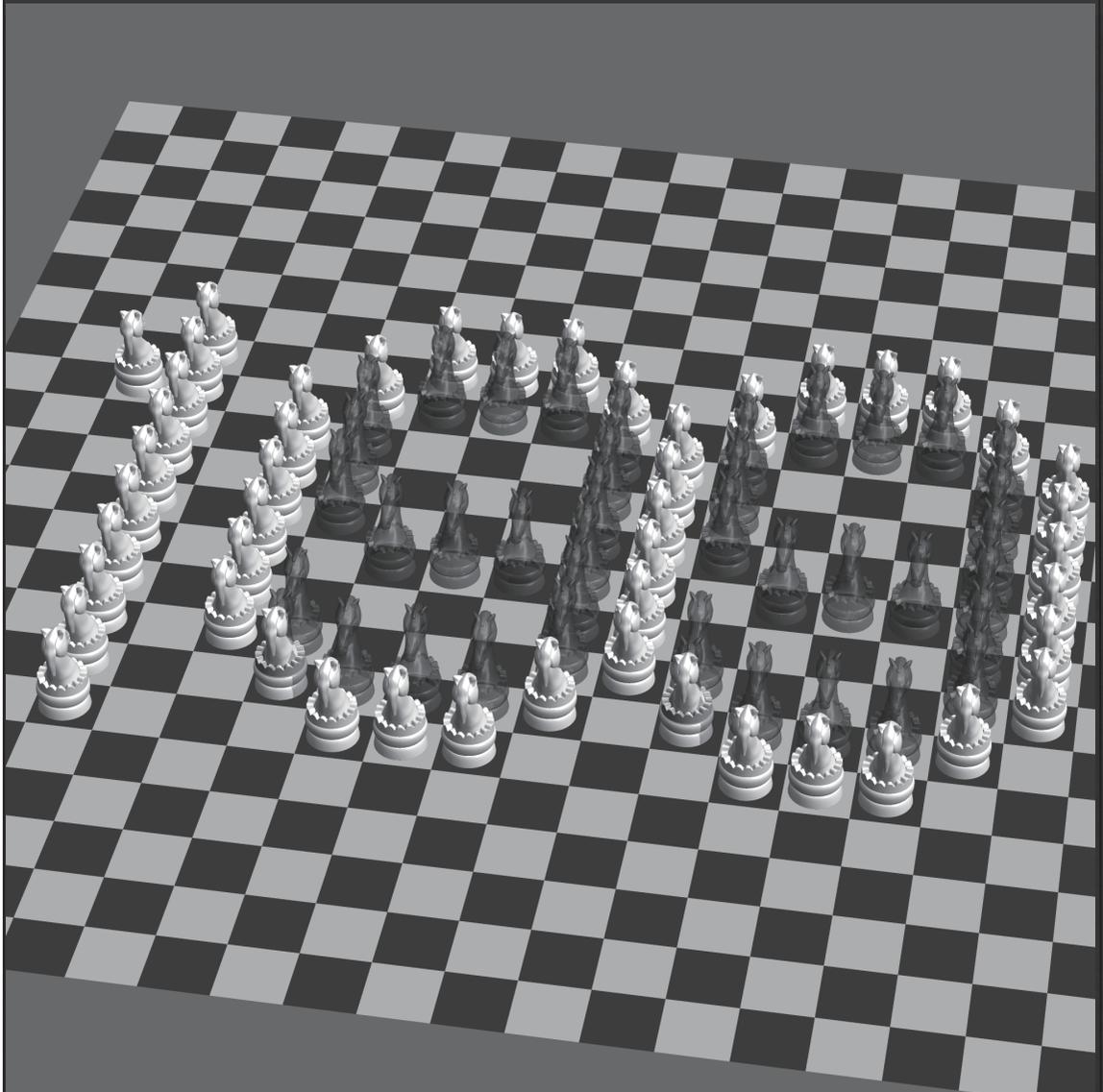


# PROBLEM PARADISE

Issue 100

Vol.25

October-December 2022



# Contents

Orthodox	……1
Endgame	……6
Helpmate	……11
Selfmate	……24
Fairy	……27
Retro	……45
Shogi	……48
Informal Tourney Award Fairies 2019	……50
出口信男の世界 (7) (泰永三二郎)	……58
Book Review	……65
Definitions	……68
第 98 号解答成績	……72
海外誌購読斡旋について	……26

各セクションごと、および全体で、1 題 5 点として成績を集計します。オーソドックスの #2 以外の作品については、主要変化と思われるものをすべて記入してください。短評大歓迎。各セクションごとに別紙を使用し、それぞれに氏名を記入すること。締め切りは **2023 年 2 月 28 日** 消印有効。宛先は Solution Editor の若島まで。また、作品の投稿は直接に担当者へ。

All solutions should be sent to the Solution Editor Tadashi Wakashima (tadashi@hcn.zaq.ne.jp) before **February 28, 2023**. Please write down your solutions of each section in separate sheets. All originals should be submitted to sub-editors. Their names and e-mail addresses are given on the back cover.

雑誌形態での発行の最後となる、第 100 号をお届けします。

これまで 25 年以上もこの雑誌を続けることができたのは、ひとえにみなさまのご支援のおかげです。ここに厚く感謝いたします。

101 号以降はウェブ・マガジンとして再出発いたします。会員制を取りませんので、自由に投稿やコメントなどを頂戴できればと思います。どうぞよろしく。

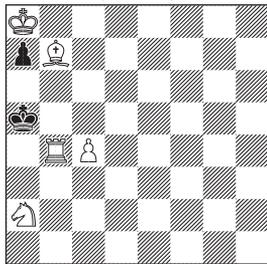
Zoom で開催している、プロブレムと詰将棋の会合「プロバラ会」は、プロバラ本体の発行スケジュールに合わせて、2、5、8、11 月の第 1 日曜に開催しています。

次回は 2 月 5 日 (日) の午後 1 時から 6 時までになります。ISC の報告も行うつもりです。新しく参加を希望される方は、若島までメールでご連絡ください。

## Notice

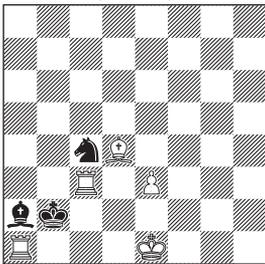
**With this 100th issue, Problem Paradise now cease publication in print form. From the issue 101, it will continue publication as a quarterly web magazine in pdf format (<https://problem-paradise.com/>). Download is entirely free. Please continue to support our humble magazine by sending originals and comments!**

**D631** Marian Frąk  
C+ (Poland)



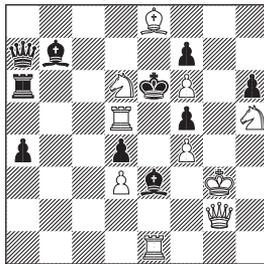
#4 (5+2)  
b) Rb4→b2

**D651** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



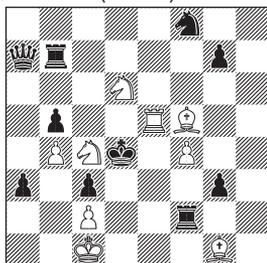
#2 (5+3)

**D652** Aleksandr Pankratyev  
C+ (Russia)



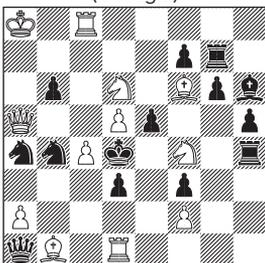
#2 (10+10)

**D653** Aleksandr Pankratyev  
C+ (Russia)



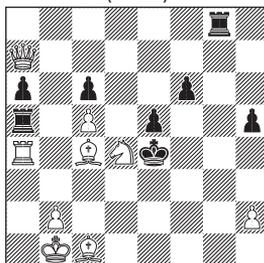
#2 (9+10)

**D654** Givi Mosiashvili  
C+ (Georgia)



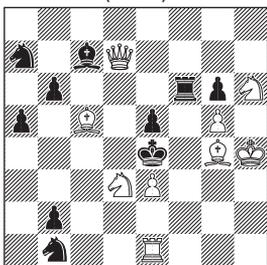
#2 (12+14)

**D655** Leonid Makaronez  
C+ (Israel)



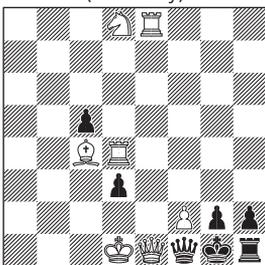
#3 (9+8)

**D656** Leonid Makaronez  
C+ (Israel)



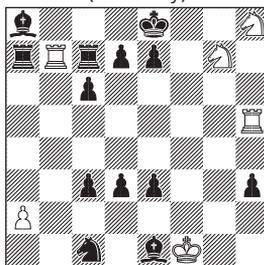
#3 (9+10)

**D657** Udo Marks  
C+ (Germany)



#11 (7+7)  
black begins with set play

**D658** Udo Marks  
C+ (Germany)



#14 (6+13)  
black begins

# Orthodox

## Orthodox Editor

Yuji Kikuta (菊田裕司)

Judge 2022-2023

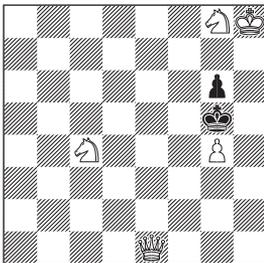
Hiromi Tutsui (筒井浩実)

☆ 98 号の D631 が b) が漏れたため再出題です。申し訳ございません。

D657 は黒から初めて #11 ですが、白が指す手数は 10 手です。また set play として白から指す手順も求められています。ややこしいですが、D658 も同様に黒から初めて #14 で、白が指す手数は 13 手です。

## Issue 98 (D623-633)

D623 Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



#2 (5+2)

- 1.Sh6! waiting
- 1...Kxh6/Kf4/Kf6 2.Qh4/Qe3/Qe6#

黒川：どちらかにナイトを引いてみたくなる。

宮嶋：捨駒の例題的作品。

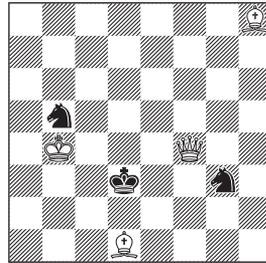
須川：Q で 3 つのフィニッシュが決まる。

Oikawa：「なるほど」な白の初手。White's first move that goes "I see."

☆初手は Sf6 か Sh6 しかなく、取られたときに詰むのは Sh6 だけです。平凡。

[○ 11 △ 0 × 0 - 0]

D624 Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



#2 (4+3)

- 1.Qf2! (2.Bc2#)
- 1...Ke4/Se2/Sd4(Sa3)
- 2.Qf3/Qxe2/Q(x)d4#

須川：広いようで狭い感じ。

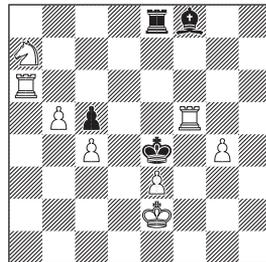
Oikawa：Qが活躍。Queen is active.

黒川：スレッドがついているのが意外性がある。

☆このキーは 2.Bc2 のスレッドがあるのですが、黒が何か動かすとそれ以外の手でも詰むのでスレッドに気が付かなかった人もいました。キーが合っていれば正解ですが。

[○ 9 △ 0 × 0 - 2]

D625 Marian Frańk  
C+ (Poland)



#2 (8+4)

1. Sc8! waiting
- 1... Re7/Re5/Rxc8(Rd8, Re6)/Be7/B~~
2. Sd6/Rf4/R(x)e6/Rd6/S(x)d6#

須川：初手が難手でした。

黒川：意外にも黒の対応がない。

☆ e8R と f8B の Grimshaw ですが、黒の応手があれこれ非限定なので何かすっきりませ

ん。キーが見え見えなのもマイナス。

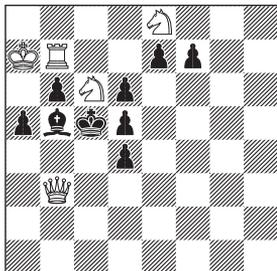
Oikawa : Rf4 の解は無い方がよかったと思う。

I think it would have been better to have no solution for Rf4.

☆これは幅を広げるためにあったほうが良いと思います。

[ ○ 9 △ 0 × 0 - 2 ]

**D626** Marian Frajk  
C+ (Poland)



#2 (5+9)

- 1. Sc7! ( 2.Qxb5/Qxd5# )
- 1...Bc4/Bxc6/Kxc6 2.Qxb6/Sa6/Qxb5#

須川 : Q と S の連携が見事です。

Oikawa : Sa6 の解が浮いているが、アクセントになっていると思う。The Sa6 solution is floating around, but I think it is accented.

黒川 : 急所がとらえにくい。

☆キーがほぼ絶対で、しかもスレットが2つあるのは大きな欠点です。

[ ○ 8 △ 0 × 0 - 3 ]

**D627** Bogusz Piliczewski  
C+ (Poland)



#2 vv (6+5)

- 1.Rh3? C (2.Rd6#)
- 1...Bg6 a 2.Rd5# A
- 1... Be1 b 2.Sf7# B
- 1... Bg5 2.Sf7#
- 1... B5~ 2.Rd5# but 1...Sf6!
- 1.Rd5? A (2.Re6#)
- 1...Bg6 a 2.Rh3# C
- 1...Be1+ b 2.Rxe1# D
- 1...Bg5 2.Qxg5#
- 1...Be7+ 2.Rxe7#
- 1...Sf6 2. Qf8# but 1...Se5!
- 1.Re5! (2. Rd6#)
- 1...Bg6 a 2.Rh2# E
- 1...Be1 b 2.Qg5# F
- 1...Bg5 2.Qxg5#
- 1... Sf6 2.Qf8#

須川 : キーに対する応手がバラエティーに富んでいて楽しい。

Oikawa : R の移動場所探し。Find the square where Rook moves.

☆ B と K の間に R が 2 枚挟まったハーフバッテリーで、その R2 枚を縦横にどう動かすかという問題です。若島さんの盤上のフロンティア第3番を思い出しましたが、こちらは角と玉の間に龍2枚と王が挟まったロイヤル1/3バッテリー。こちらはハーフバッテリーですがプロブレムらしく 3x2 の Zagoruiko ( 紛れ2つと本手順の3つのフェイズで、1...Bg6 と 1...Be1 に対してそれぞれ別のメイトが用意されている ) というのがうまくできています。これを Meredith ( 盤面 12 枚以内 ) で表現しているのは見事です。

☆ Half-battery of bishop + 2 rooks and how to move 2 rooks? This reminds me Tadashi Wakashima' s Tsume-Shogi (Frontier on Board No.3). Great expression with 3x2 Zagoruiko in Meredith.

☆ Set play で 1...Be7+ に対するメイトがない (unprovided check) という欠陥 (不完全ではない) があり、作者から修正図が送られてきました。

☆ In Set play, 1...Be7+ is unprovided check. Auththor sends improved version.

### D627v

version



#2 vv

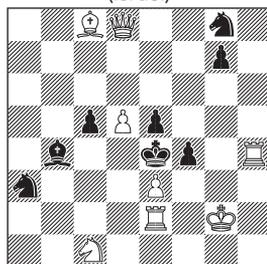
(6+6)

☆ Rd5? と Re4? の誤解が 1 名ずつ。後者は誤記かもしれませんが×とさせていただきます。

[ ○ 5 △ 0 × 2 - 4 ]

### D628 Leonid Makaronez

C+ (Israel)



#3

(8+8)

1.Qd6! (2.Rf4+ exf4 3.Qe6#)  
 1...Bc3 2.exf4+ Kd4 3.fxe5#  
 1...Sc4 2.Qg6+Kd5 3.Bb7#  
 1...g5 2.Bf5+Kf5 3.e4#

須川：感心するほど変化処理がうまい。

太刀岡：2 手目からチェックがかかるが、どの変化も気の利いた詰まし方で良い。

空き王手が面白かった。I liked the procedure for using Pawn. Especially the continuous discovered check was interesting.

黒川：スレットが気付きにくい。

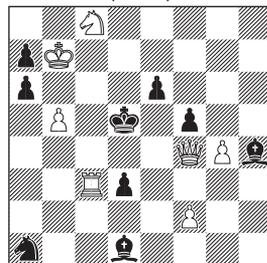
☆変化がすべてセルフブロックになっていて、メイトの手順も味が良いです。中でも 2.exf4 ~ 3.fxe5# とポーンでパクパク取って詰ますのがユーモラス。とてもうまくできています。

☆ Nice variations with self-blocks. Mates are also good and 2.exf4~ 3.fxe5# is humorous.

[ ○ 5 △ 0 × 0 - 6 ]

### D629 Leonid Makaronez

C+ (Israel)



#3

(7+9)

1...Ba4(Bc2) 2.f3 (3.Qd6#)  
 1...Bf3 2.Qd6+Ke4 3.Rc4#  
 1...d2 2.Qd6+Ke4 3.Re3#  
 1...Bf6 2.Qc4+Ke5 3.f4#  
 1...ab 2.Rd3+Kc5 3.Qd4#  
 1.Rc6!(2.Qc4+Ke5 3.Re6#)  
 1...Bf3 2.Qd6+Ke4 3.Rc4#  
 1...Bb3 2.Qe3 (3.Rc5#) e5/Be7 3.Qd3/  
 Sxe7#  
 1...fxg4 2.Rc4 (3.Qd4/Qe4#) e5 3.Qf7#  
 1...axb5 2.Rd6+Kc5 3.Qd4#

中嶋：ディフェンスした駒でセルフブロックされる

須川：変化一つ一つを考えるのは大変です

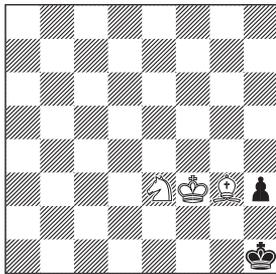
太刀岡：複雑な変化が楽しめる。

黒川：とらえどころが難しい。

☆こちらも 1...fxg4 以外の応手はセルフブロックになっています。1...fxg4 の応手のほうは最後 3.Qf7# となるのが意外な詰め上がり。これもとてもうまくできています。

[ ○ 2 △ 2 × 0 - 7 ]

**D630** Marian Frąk  
C+ (Poland)



#4 (3+2)

1.Bh2! Kxh2 2.Kf2 Kh1 3. Sf1 h2 4. Sg3#

黒川：初手に 1 枚捨てるのは意外。

須川：いきなり B を捨てるのは意表を突きます

太刀岡：美しい捨駒。

Oikawa：一目の詰上り。I could see the checkmate shape at a glance.

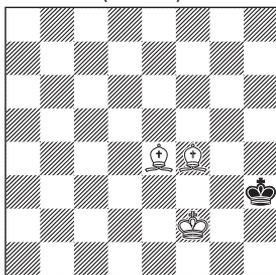
☆ 1.Bf2? は 1...h2! で詰みません。Bh2 と捨てればあとは簡単です。

[ ○ 6 △ 0 × 0 - 5 ]

**D631 Marian Frąk**

☆ b) が漏れたため、再出題いたします。申し訳ありません。

**D632** Marian Frąk  
C+ (Poland)



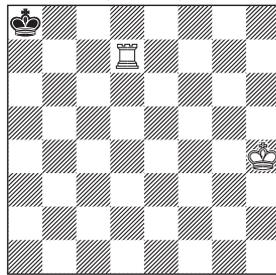
#6 (3+1)

1.Bf3! Kh4 2.Be2 Kh3 3.Bg5 Kh2 4.Bf1 Kh1 5.Bg2+ Kh2 6.Bf4#

黒川：Kf3 から入ると 7 手かかってしまうが

ビショップを回転させるのがうまい。  
須川：どうやってもよさそうなのにね  
太刀岡：B の遠回り。  
☆ちよっと単調です。  
[ ○ 5 △ 0 × 0 - 6 ]

**D633** Marian Frąk  
C+ (Poland)



#7 (2+1)

1.Kg5 Kb8 2.Kf6 Ka8/Kc8 3.Ke7 Kb8 4.Kd8 Ka8 5.Kc7 Ka7 6.Rd6 Ka8 7.Ra6#

須川：こんな簡潔な形で表現できるのは不思議  
太刀岡：あまりひねりがない。

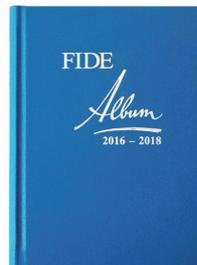
Oikawa：とても易しかった。It was very easy.

黒川：長い易しい。

☆これはさすがに単純すぎました。

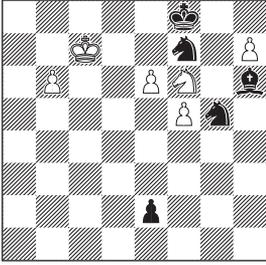
[ ○ 7 △ 0 × 0 - 4 ]

**FIDE ALBUM 2016-2018**



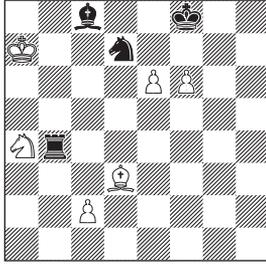
FIDE ALBUM の新刊が出ました。1984 局収録、912 ページのポリウムは過去最大です。価格は 54 Euro。購入はこちらのページから。  
<https://www.fidealbum.com/>

**E208** Andrzej Jasik  
(Poland)



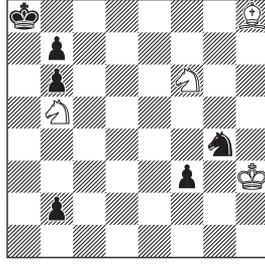
Draw (6+5)

**E209** Andrzej Jasik  
(Poland)



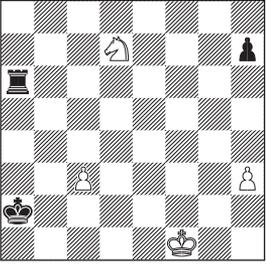
Draw (6+4)

**E210** Jarl Henning Ulrichsen  
(Norway)



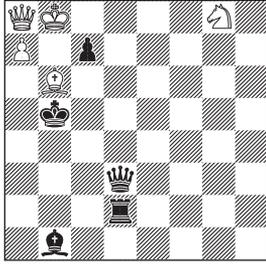
Win (4+6)

**E211** Michael Pasman  
(Israel)



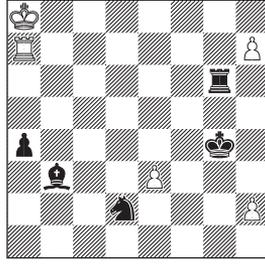
Draw (4+3)

**E212** Leonid Topko  
(Ukraine)



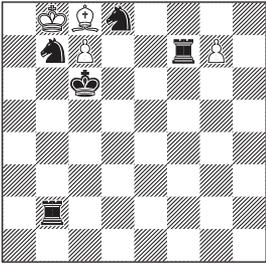
Draw (5+5)

**E213** Pavel Arestov  
(Russia)



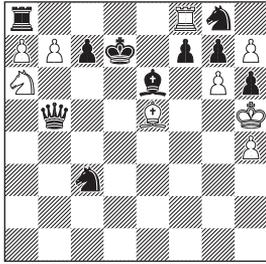
Win (5+5)

**E214** Sergey Osintsev  
(Russia)



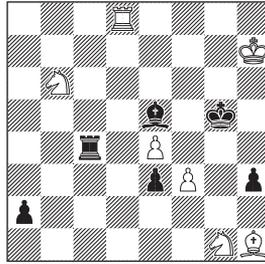
Draw (4+5)

**E215** Alexey Gasparyan  
(Armenia)



Draw (9+10)

**E216** Peter Krug  
(Austria)



Win (7+6)

# Endgame

## Endgame Editor

Hiroshi Manabe (真鍋 浩)

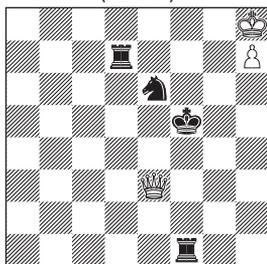
## Judge 2022

Mario G. Garcia (Argentina)

今年度最後は9問の出題です。E208は手は限られていますので、うまく黒のピースを1枚消してください。E209はうまい初手を見つけてください。E210はプロモーションを巡る攻防から、後半様相が一転します。E211はRvsSはドローということを念頭に取り組んでください。E212の白は防戦一方のように見えますが、うまくドローに持ち込んでください。E213は導入部はわかりやすいと思いますが、慎重に勝ちの手順を探してください。E214は白が勝てそうですが実際は黒優勢。白はドローに持ち込む手順を探してください。E215は色々な駒が当たっていますが、徐々にほぐして最後は意外な終局を迎えます。E216は確りと読んで正解手順を探して、美しい最終形を見つけてください。

## Issue 98 (E194-200)

E194 Valery Kalashnikov (Russia)



Draw (3+4)

1.Kg8 Rg7+ 2.Kh8 Rc7! 3.Kg8 Rc8+ 4.Kf7 Sg5+ 5.Kg7 Rc7+ 6.Kg8 Rc8+ 7.Kg7 Se6+ 8.Kf7 Rc7+ 9.Kg8 Rg7+ 10.Kh8 Rf7 11.Qh3+! Ke5 12.Qc3+! Kf5 13.Qh3+!  
Draw

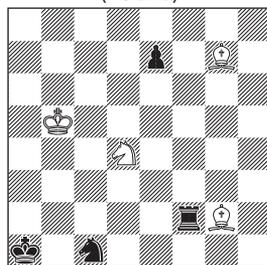
☆初形から、Qによるパーペチュアルを狙いたくなりますが、1.Qh3+? Ke5 2.Qc3+ (2.Qe3+ Kf6 3.Qc3+ Kf7 4.Qc8 Ke7 5.Kg8 Rg1+ 6.Kh8 Rgd1) とするのは、2...Rd4 3.3.Qe3+ Kf6 でチェックが続きません。

☆正解は、1.Kg8 Rg7+ 2.Kh8 と手を渡します。黒は 2...Rc7! とルークの位置を変え、再度の 3.Kg8 には 3...Rc8+ 4.Kf7 Sg5+ 5.Kg7 Rc7+ 6.Kg8 Rc8+ 7.Kg7 Se6+ 8.Kf7 Rc7+ (8...Sf4 9.Qe7 Sh5 10.Qe2 Rc7+ 11.Kf8=) 9.Kg8 と抵抗します。

☆結局、黒は 9...Rg7+ 10.Kh8 Rf7 と手を変えるしかありませんが、この瞬間を狙って、11.Qh3+! Ke5 12.Qc3+! とチェックを掛けると、Rd4の手が無く、12...Kf5 13.Qh3+ でパーペチュアルのドローになります。

[ ○ ○ △ ○ × 3 ]

E195 Jan Rusinek (Poland)



Win (4+4)

1.Se2+ e5 2.Bxe5+ Ka2 3.Bd5+ Ka3 4.Sc3 Rb2+ 5.Ka5 Sb3+ 6.Kb6 Rc2 7.Bd6+ Kb2 8.Sa4+ Ka2 9.Sc5 Rc3 10.Kb5 Rh3 11.Kb4 Rh4+ 12.Kc3 Win

☆ 1.Se2+ はこの一手ですが、1...e5 と近づけて受けるのが好手。2.Bxe5+ Ka2 3.Bd5+ Ka3 4.Sc3 Rb2+ までは一気に進みます。

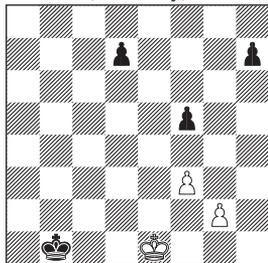
☆ 5.Ka6? は 5...Kb4 6.Sb5 Sd3 でドローなので、5.Ka5 Sb3+ 6.Kb6 Rc2 (6...Sd4+ 7.Ka6 Rc2 8.Bxd4 Rxc3 9.Bxc3) 7.Bd6+ Kb2 と進み、ここから 8.Sa4+ Ka2 9.Sc5 となって勝ちが見えてきます。

☆ 9...Rc3 10.Kb5 Rh3 となって、うっかり 11.Sxb3? とするのは、11...Rh5! でドロー。

11.Kb4 が正解で、以下 11...Rh4+ 12.Kc3 となって勝ちとなります。

[○ 0 △ 1 × 2]

E196 Rainer Staudte  
Michael Schlosser  
(Germany)



Draw (3+4)

1.f4 h5 2.Kd1 h4 3.Kd2 d6 4.Kd1 Kb2  
5.Kd2 Kb3 6.Kd3 Kb2 7.Kd2 d5 8.Kd3  
Kc1 9.Kd4 Kd2 10.Kxd5 Ke3 11.Ke5 Kf2  
12.Kxf5 Kxg2 13.Ke6 h3 14.f5 h2 15.f6  
h1=Q 16.f7 Qh6+ 17.Ke7 Qg7 18.Ke8  
Draw

☆シンプルなポーンエンディング。初手は 1.f4 が唯一手です。

中嶋：f4 → g4 でパスポーンを狙う。

☆ 2.g4 を防ぐ 1...h5 に対して、2.Kd2? は 2...h4 3.Kc3 d6! となって黒勝ちです。正解は 2.Kd1! で、2...h4 3.Kd2 d6 の時に、4.Kd1 と戻ってオポジションを取ることができます。

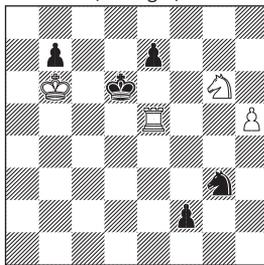
☆以下、4...Kb2 5.Kd2 Kb3 6.Kd3 Kb2 7.Kd2 とオポジションをキープすれば、黒は 7...d5 と打開するしかありません。

☆ 白 は 8.Kd3 Kc1 9.Kd4 Kd2 10.Kxd5 と一目散にこのポーンを取りに行き、以下、10...Ke3 11.Ke5 Kf2 12.Kxf5 Kxg2 とポーンを取り合った後、ポーンレースになります。

☆この競争は、15...h1=Q と黒が先にプロモーションしますが、16.f7 で白の残ったポーンが f ファイルなので、ドローになります。

[○ 0 △ 2 × 1]

E197 David Gurgenidze  
(Georgia)



Draw (4+5)

1.Sf4 e6 2.Rxe6+ Kd7 3.Sd3 f1=Q 4.Sc5+  
Kd8 5.Sxb7+ Kc8 6.Sc5 Qb1+ 7.Kc6 Qh1+  
8.Kb6 Qxh5 9.Rc6+ Kd8 10.Sb7+ Ke7  
11.Rc7+ Kf6 12.Rc6+ Kg5 13.Rc5+ Draw

☆黒のプロモーションが受からないように思えますが、1.Sf4! が上手い手です。一見、ルークがタダですが、1...Kxe5 には 2.Se3+ のフォークがあるので、ルークを取ることはできません。

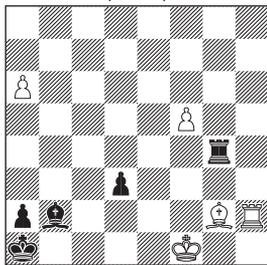
☆黒は 1...e6 が最善の受けですが、2.Rxe6+ Kd7 の局面で、3.Sd3 とナイトを再度動かすのが好手。3...f1=Q のプロモーションは許しますが、4.Sc5+ Kd8 でキングを追い込むことができます。

☆ 5.Sxb7+ Kc8 6.Sd5 とメイトスレットで迫れば、6...Kd8 と戻るのは同形のドローになるので、黒は 6...Qb1+ 7.Kc6 Qh1+ 8.Kb6 Qxh5 と連続チェックからポーンを取りつつ Re8# を防ぎます。

☆白は一見困ったようですが、9.Rc6+ Kd8 10.Sb7+ が上手い転進。10...Ke7 11.Rc7+ となって、黒キングがどこへ逃げても、Rc8+/Rc7+/Rc6+/Rc5+ のチェックから逃れられません。最後は R で Q を取れば、ドローになります。

[○ 0 △ 2 × 1]

**E198** Michael Pasman  
(Israel)



Draw (5+5)

1.a7! Rf4+ 2.Bf3! Ra4! 3.Bd5 Rxa7 4.Rd2 Ra3! 5.Rd1+ Bc1 6.f6! Kb2 7.Bxa2 Kc2! 8.Ke1 d2+ 9.Ke2 Rh3! 10.Bc4!! Rh2+ 11.Kf1! Rh1+ 12.Ke2! Rxd1 13.Bd3+! Kc3 14.Kxd1 Kxd3 15.f7 Ba3 16.f8=Q Bxf8 Draw

☆初手 1.a7 は自然な手。1...Rf4+ に対する 2.Bf3! が好手で、2...Rxf3+ 3.Kg2 は簡単にドローです。黒は 2...Ra4! と誘いに乗らず、3.Bd5 Rxa7 4.Rd2 と進みます。

☆ 4...Ra3 (4...Kb1 5.Bxa2+) 5.Rd1+ の局面で、5.Bc1 と捨てるのが、先ほどの 2.Bf3! のリフレインになっています。取ると、6.Rxc1+ Kb2 で黒勝ちなので、6.f6! Kb2 7.Bxa2 Kc2! 8.Ke1 と進みます。

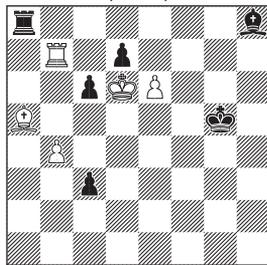
☆ここで 2つのメインラインに分かれます。8...d2+ 9.Ke2 Rh3! には 10.Bc4!! が好手で、10.Rh2+ 11.Kf1! Rh1+ 12.Ke2! Rxd1 とルークは取られますが、13.Bd3+! Kc3 14.Kxd1 Kxd3 と取り合った後、15.f7 Ba3 16.f8=Q Bxf8 となってステイルメイトです。

☆ 8...Rxa2 には 9.f7 Ra8 10.f8=Q! Rxf8 11.Rxc1+! Kxc1 となって、これもステイルメイトです。

☆途中で分岐するメインライン 2つが、いずれも鮮やかなステイルメイトで終わる作品です。

[ ○ 0 △ 1 × 2 ]

**E199** Michael Pasman  
(Israel)



Draw (5+6)

1.Ra7!! Be5+! 2.Kxe5 d6+ 3.Kxd6 Rxa7 4.e7! Rxe7! 5.b5!! Re3 6.Bxc3! Rd3+! 7.Bd4! Rxd4+ 8.Kc5! Rd1 9.bxc6 Kf6 10.c7 Ke7 11.c8=S+! Draw

☆初手に悩むところです。1.e7? Bf6 2.Bb6 Kf4 や 1.Bb6? dxe6 2.Rc7 Kf5 3.Rxc6 Ke4 4.Kxe6 Kd3、1.b5? Rxa5 2.exd7 Bf6 3.Rc7 Rxb5 4.Rxc6 Rb8 5.Rc8 Rb6+ 6.Kd5 Rb1! 7.Ke6 Re1+! はいずれも黒勝ちです。

☆正解は 1.Ra7!! の強手。1...Rxa7 と取れば、2.e7 c2 3.e8=Q c1=Q 4.Bd8+! Bf6 5.Qe5+ Kg4 6.Qe2+! Kf5 7.Qd3+! Kf4 8.Bxf6 とクイーンを作り合っただロー。1...Rg8 と躲すのは、2.exd7! c2 3.d8=Q+ Rxd8+ 4.Bxd8+ Kg4 5.Bg5! Kxg5 6.Ra5+ Kf6 7.Rc5 でプロモーションを止めて白勝ちになります。応手によって、2.e7/exd7 を決めるためのルークサクリアイスです。

☆黒は 1...Be5+! の強手で応じます。2.Kex5 d6+ 3.Kxd6 としてから 3...Rxa7 と取り、4.e7! Rxe7! と精算します。

☆ここで、白は先に 5.b5! と捨てて 5...c2 6.Bd2+ を用意しますが、黒はその裏を掻いて、5...Re3 とします。

☆白は 6.Bxc3 と更に精算し、6...Rxc3 7.bxc6 ならドローですが、黒は 6...Rd3+ とチェックを挟み、7.Kc7? なら 7...cxb5!、7.Kxc6? には 7...Rxc3+ 8.Kd6 Rb3! 9.Kc6 Kf6 10.b6 Ke7 11.b7 Kd8 でドローに持ち込む狙いです。

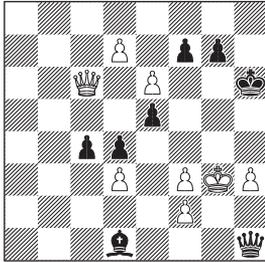
☆白は困ったようですが、7.Bd4! が全てを解決する絶妙手。7...Rxd4+ と近づけて、8.Kc5! Rd1 9.bxc6 Kf6 10 c7 Ke7 11.c8=S+ と最

後はチェックのアンダープロモーションで  
ドローに持ち込むことができました。

☆白黒双方の濃密な手のやり取りが楽しめる作  
品でした。

[○ 0 △ 0 × 3]

**E200** Peter Krug  
(Austria)



Win (8+8)

1.Kh4! g5+ 2.Kg4 Bxf3+ 3.Qxf3 f5+  
4.Kg3 Qg1+ 5.Qg2 f4+ 6.Kf3 e4+ 7.Kg4!  
Qxg2+ 8.Kf5 Qxh3+ 9.Ke5! e3 10.d8=Q  
e2 11.Kf6! Kh5 12.Qd5 Kg4 13.Qf5+ Kh4  
14.Qxg5# Win

☆ 1.exf7+? Kh5 は 2...Qg1# を見せられて失  
敗なので、初手は 1.Kh4! が正解です。1...g5+  
2.Kg4 は必然ですが、黒の 2...Bxf3+ 3.Qxf3  
f5+ が上手い手順です。4.Kg3 Qg1+ 5.Qg2  
f4+ 6.Kf3 e4+ と双方最善を尽くしますが、  
7.Kg4! とあっさり Q を見捨てて 7...Qxg2+  
8.Kf5 Qxh3+ 9.Ke5! (9.Kf6? Kh7! 10.d8=Q  
Qh6+) e3 10.d8=Q e2 と進みます。

☆ ここで 11.Qh8+? Kg6 12.Qxh3 e1=Q+  
は失敗。11.Kf6! とメイト狙いに切り替え、  
以下 11...Kh5 12.Qd5 Kg4 13.Qf5+ Kh4  
14.Qxg5# でメイトになります。

[○ 0 △ 2 × 1]

### <不完全作のお知らせ>

過去の実賞作 2 作について、Paul Raican 氏  
から不完全の指摘がありました。

### **E157 Michal Pasman 作 (2020 年 度 Honorable Mention)**

作意通り進めて、11.d5 に対し、11...Bxd5  
12.Sf5 Re6 で黒勝ちでした。

### **E176 Peter Krug 作 (2021 年 度 Commendation)**

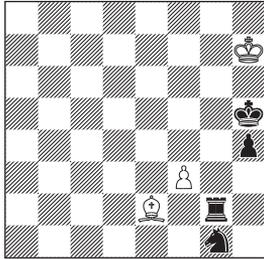
作意 1.g4! fxg4 2.h6! の所、2.Kf5 は  
Try とされ、以下 2...Sh4+ 3.Ke4 d5+  
4.Ke3 Nf5+ 5.Kf2 Nf3 6.Nxf3 gxf3 7.Qe5  
Kg4 8.h3+ Kg5 9.c4 dxc4 10.h4+ Kxh4  
11.Qf4+ Kxh5 12.Qxf5+ Kh6 でドロー  
としていましたが、以下、13.Qh3+ Kg6  
14.Qg3+ Kh6 15.Ke3 で白の勝ちでした。

指摘を頂いた Paul Raican 氏に感謝申し上  
げると共に、粗検をお詫びいたします。

### <ご挨拶>

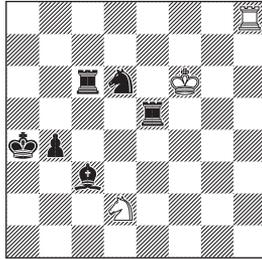
100 号到達を機に編集担当を降板させて頂  
くことになりました。第 8 号から解説を担当、  
出題形式が変わった第 13 号から長い間エンド  
ゲームを担当させて頂きました。拙い解説では  
ありましたが、多くの作者、解答者の皆さまに  
お世話になり、大変ありがとうございました。  
101 号からは塩見亮さんに担当頂きます。よ  
ろしくお願いいたします。

**H1379** Mei Komai  
C+ (駒井めい)



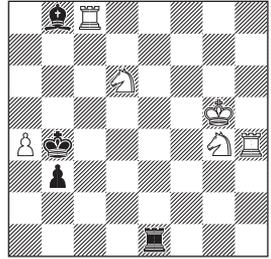
H#2 2sols (3+4)

**H1380** Go Umayabara  
C+ (馬屋原剛)



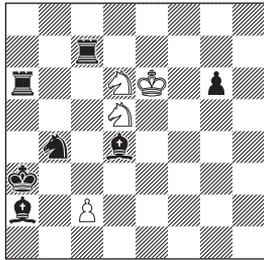
H#2 2sols (3+6)

**H1381** Toshimasa Fujiwara  
C+ (藤原俊雅)



H#2 2sols (6+4)

**H1382** Hiroaki Maeshima  
C+ (前嶋啓彰)



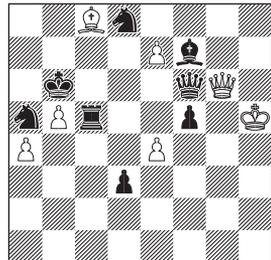
H#2 2sols (4+7)

**H1383** Jozef Ložek  
Miroslav Svítek  
C+ (Slovakia, Czech)



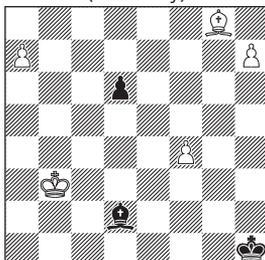
H#2 2sols (6+5)

**H1384** Fadil Abdurahmanović  
C+ (Bosnia Hercegovina)



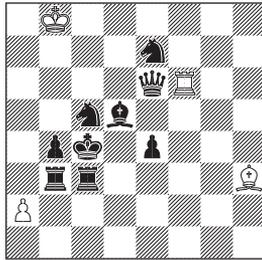
H#2 2sols (7+8)

**H1385** Reinhardt Fiebig  
C+ (Germany)



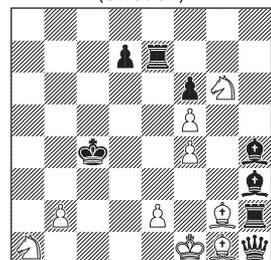
H#2.5 2sols (5+3)

**H1386** Abdelaziz Onkoud  
C+ (France)



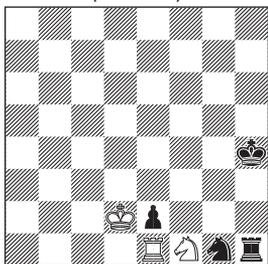
H#2.5 (4+9)  
b) -Rb3

**H1387** Kaj Engström  
Christer Jonsson  
C+ (Sweden)



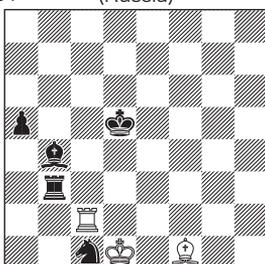
H#2.5 (9+8)  
b) Sa1→c8

**H1388** Stanislav Hudák  
C+ (Slovakia)



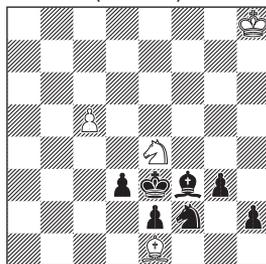
H#3 3sols (3+4)

**H1389** Aleksandr Pankratiev  
C+ Kirichenko Anatoly (Russia)



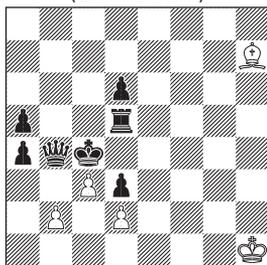
H#3 (3+5)  
b) Pa5→a4

**H1390** Kaj Engström  
C+ (Sweden)



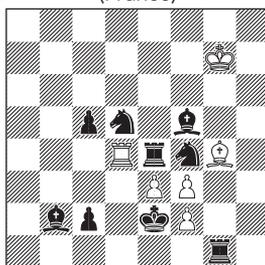
H#3 2sols (4+7)

**H1391** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



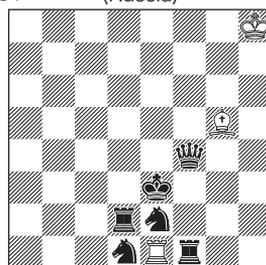
H#3 (5+7)  
b) +bPb3

**H1392** Abdelaziz Onkoud  
C+ (France)



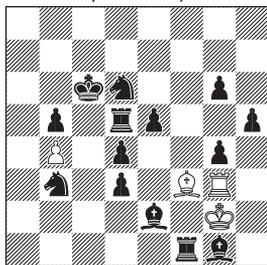
H#3 2sols (6+9)

**H1393** Aleksandr Pankratiev  
C+ Aleksey Ivunin (Russia)



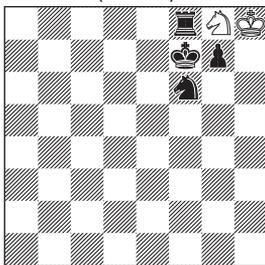
H#3.5 3sols (3+6)

**H1394** Mihaiu Cioflanca  
C+ (Romania)



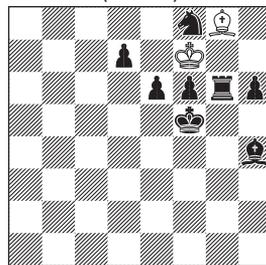
H#3.5 4sols (4+14)

**H1395** Sébastien Luce  
C+ (France)



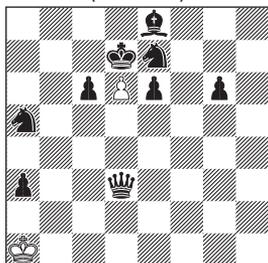
H#4 2sols (2+4)

**H1396** Marian Frańk  
C+ (Poland)



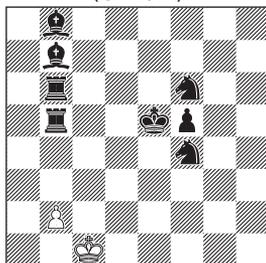
H#4 (2+8)

**H1397** Mihaiu Cioflanca  
C+ (Romania)



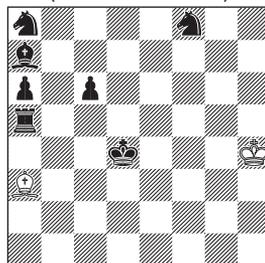
H#5 3sols (2+9)

**H1398** Atsuo Hara  
C+ (原亜津夫)



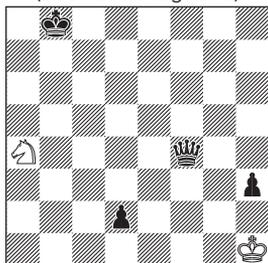
H#5.5 (2+8)

**H1399** Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



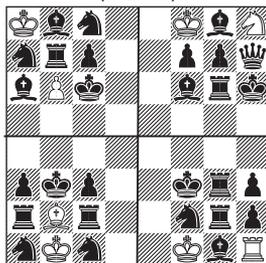
H#6.5 (2+7)

**H1400** Fadil Abdurahmanović  
C+ (Bosnia Hercegovina)



H#7 (2+4)

**H1401** Sébastien Luce  
C+ (France)



see text (8+28)

## Helpmate

### Helpmate Editor

Toshimasa Fujiwara [藤原俊雅]

### Judge 2022

H# ≤ 3 : Ricardo Vieira (Brazil)

H# > 3 : Michel Caillaud (France)

### 【出題稿について】

●今号は 23 題の出題です。100 号記念ということで 4 人の日本人作家から投稿をいただきました！駒井さんと馬屋原さんは初投稿、また原さんは私が担当になってから初め

ての投稿です。さらにお馴染みの前嶋さん、最後は自作も混ぜ込みました。この 5 作はいずれも易しいと思います。

● H1401 は 4 つの枠内をそれぞれ別作品として解きます。手数も異なるので注意してください(下記参照)。

### 【結果稿について】

●解答者数は減少し、初解答の方もいませんでした。また短評も少なかったため、解説を長めに書きました。短評をいただけるとありがたいです。よろしくお願ひします。

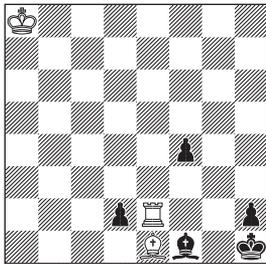
This issue has 23 compositions. TF

means the comment of Toshimasa Fujiwara. Thanks for your support, we're finally reaching Issue 100!!

**H1401** combines four problems in one diagram. **A** → **H#5.5(bK on b3)**, **B** → **H#3.5(bK on c6)**, **C** → **H#3.5(bK on h6)**, **D** → **H#4.5(bK on f3)**.

### Issue 98 (H1337-1360)

**H1337** Marian Fraňk  
C+ (Poland)



H#2 2sols (3+5)

1.Kg1 Bg3 2.h1=S Bh2#  
1.dxe1=S Rf2 2.Sg2 Rxf1#

● 2解ともSに成ってself-blockします。白がそれぞれの解でRのみ、Bのみを動かすのは良いですね。

須川:Bを取らせるのはちょっと意外でした。

黒川:ナイトの弱点をうまくついている印象。

太刀岡:同種成だがSは最も出しやすそう。

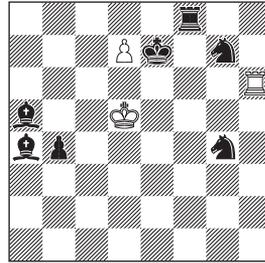
● 2手の2解で盤上駒数一桁では、なかなか新作にならないというのが正直な感想。

Oikawa: Block the retreat with a promoted Knight.

Sunouchi: Bishops are destined to multiply or disappear.

TF: Model mates. Self-block by promoted Knights.

**H1338** Jozef Ložek  
C+ (Slovakia)



H#2 2sols (3+7)

1.Se8 dxe8=B 2.Bd8 Re6#  
1.Rf7 d8=B+ 2.Kf8 Rh8#

● こちらも2つの解で同種成。1つのPで成る場所を変えてあります。

黒川:どちらもビショップにするのが意外。

須川:成る位置も異なり、Rのとどめは縦と横に。太刀岡:手順は綺麗だが不動駒が気になる。

● 2解目で左のB2枚が働かず、配置の効率は良くない印象です。

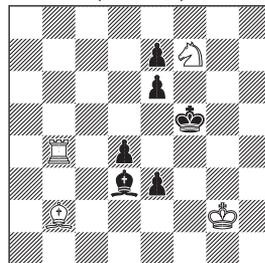
Sunouchi: Promoted Bishops shut down escape routes.

Oikawa: Rook and Bishop sandwich the King.

TF: Promote to same piece in another place. Vertical and horizontal contrast.

However, setting efficiency is not good, I think.

**H1339** Hiroaki Maeshima  
C+ (前嶋啓彰)



H#2 2sols (4+6)

1.Kf4 Bxd4 2.Bf5 Be5#

1.Kf6 Rxd4 2.Bg6 Rf4#

●ヘルプの基本に忠実な作品。RとBで2種類のバッテリーを組みます。

黒川：片方がわかればもう片方も自然に浮かんでくる。

塩見：お手本のような、気持ちいい作品ですね。

須川：ダブルチェックのお手本のような作品。

太刀岡：よく見るツインだが過不足ない作り。

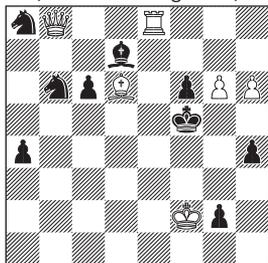
●コントラストは模範的で配置にも文句はありませんが、オリジナリティ不足か。

Sunouchi：We always welcome bracing double checks.

Oikawa：A lean composition and procedure that reflects the differences in the batteries.

TF：Classical battery construction!

H1340 Fadil Abdurahmanović  
C+ (Bosnia Hercegovina)



H#2 4sols (6+9)

1.Sc8 Re5+ 2.Kf4 Qb4#

1.Sd5 Be5 2.Ke4 Qb1#

1.Kxg6 Rh8 2.Kf7 Qg8#

1.g1=R Bh2 2.Rxg6 Qf4#

●最初の2解はe5地点での Grimshaw、そして残りの2解は Bristol。Q、R、Bの3枚でこの組み合わせが実現できると思いつ

いたところに本作の意義があります。このような2+2の構成はHOTF(あるいはTF Helpmate)と呼ばれるもので、ここ数十年のヘルプのトレンドなので覚えておきましょう。

須川：4つの異なる楽しい作品を味わえた。

黒川：1つだけQがRのような使い方になっているのが惜しい。

●最終手がQで統一されているのも良いですね。

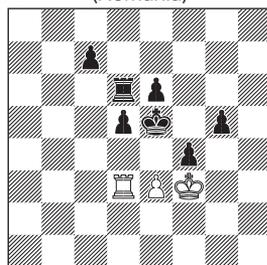
●解のバランスは完璧ではありませんが、このような面白いアイデアを実現してくるあたりが Abdurahmanovic という作家の凄さです。

Oikawa：Enjoy the movement of the line pieces.

Sunouchi：Queen flies around widely for touchdowns.

TF：TF Helpmate by Grimshaw and Bristol. A wonderful composition, even if the balance of the black moves is not perfect! Has this combination ever been done before?

H1341 Mihaiu Cioflanca  
C+ (Romania)



H#2.5 zero position (3+7)

a)Kf3→f8

b)Pd5→d4

c)Pc7→d2

d)Pc7→h2

a)1...e4 2.Kf6 Rh3 3.e5 Rh6#

b)1...Rxd4 2.Kf5 Rxd6 3.e5 e4#

c)1...Rd4 2.d1=R Rxf4 3.Rd4 exd4#  
 d)1...Kg4 2.h1=B Kxg5 3.Be4 exf4#

●この作者お馴染みの、バラバラの4解を  
 探す問題。

●よく見ると、c)とd)には under-  
 promotionや最終手Pという統一感があり  
 ますね。

太刀岡：Rがざっくり4方向から睨む。

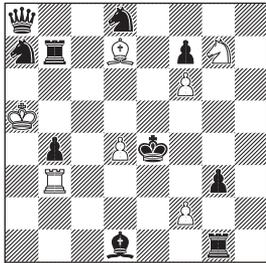
須川：駒取りが多いb)、c)が難解でした。

Oikawa：c) and d) are well constructed.

Sunouchi：White fellows firmly make  
 steps in any case.

TF：I enjoyed under-promotion and the  
 move of white pawn. There is a sense of  
 unity in c) and d).

**H1342** Abdelaziz Onkoud  
 C+ (France)



H#2.5 2sols (7+10)

1...Rd3 2.Bb3 fxg3 3.Bd5 Bf5#  
 1...Be6 2.Rd7 Sh5 3.Rxd4 Re3#

須川：動いた跡地に移動するのが良い感じ。

●まさにそこがテーマ部分で、RにB、そし  
 てBにRという風にウムノフが対応してい  
 ます。

太刀岡：配置効率が悪く見える。

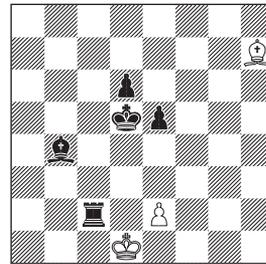
●この作者は、駒数多くてコントラストに  
 強く拘った作が多いという印象です。作家ご  
 との個性が見えてくると、解図や鑑賞がより  
 楽しくなることでしょう。

Sunouchi：Black moves are nice as  
 Umnov and self-block.

Oikawa：The number of pieces is  
 large, but the exchange of functions is  
 beautiful. "Be6 Rd7" and "Rd3 Bb3" are  
 good procedures.

TF：Clear and nice representation of  
 Umnov moves! Exchange of functions of  
 R and B.

**H1343** Stanislav Hudák  
 C+ (Slovakia)



H#3 2sols (3+5)

1.Rc3 Kd2 2.Rc6+ Kd3 3.Bc5 Bg8#  
 1.Rc5 e3 2.Kc4 Ke2 3.d5 Bd3#

● Rc3でBのラインを切ってからc6をセル  
 フブロックする解と、直接c5をセルフブ  
 ロックする解。

●白Kや白Bの使い方を2解で変えている  
 のが、最低限の複数解らしさでしょう。

太刀岡：簡素図で無駄がない。

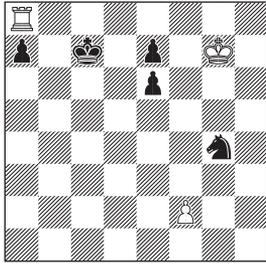
須川：2解目 Rc3は好手でした。

Oikawa：Stops along the way. Go  
 straight.

Sunouchi：Black self-interferences are  
 keys to solve.

TF：The moves of white King and Bishop  
 change in two solutions. The diagram is  
 simple and efficient, but it also seems to  
 be insufficient.

**H1344** Stanislav Hudák  
C+ (Slovakia)



H#3 2sols (3+5)

1.Kd6 Kh7 2.Ke5 f4+ 3.Kf6 Rf8#  
1.Kd7 Rxa7+ 2.Ke8 Kg6 3.Kf8 Ra8#

●黒はKのみが動きます。最後はRの縦利き・横利きでメイト。

須川：Kの位置だけで見事に狙いが表現されている。

太刀岡：パラっとした配置で手順が限定できているのがすごい。

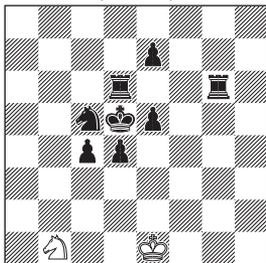
●私には何が良いのか分かりませんが、意外に好評でした(笑)。

Oikawa：The problem of moving the black King.

Sunouchi：He enters alone at the front or back gate.

TF：It's good that white King moves away from black King. Model mates.

**H1345** Marian Frańk  
C+ (Poland)



H#3 2sols (2+8)

1.e4 Sa3 2.e5 Sc2 3.Rge6 Sb4#  
1.Rc6 Sd2 2.Rgd6 Se4 3.e6 Sf6#

須川：分かりやすいところが良い。

太刀岡：縦横の対比。手順を限定するSの位置がうまい。

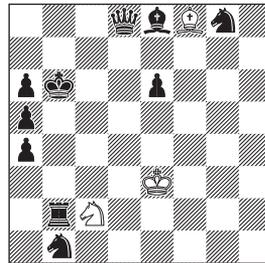
●単純なパズルといったところ。途中でcheckをかけてしまわないようにだけ注意が必要です。

Oikawa：Knight runs on the board.

Sunouchi：No problem even if it was so easy to enjoy.

TF：Please be careful not to check in the process. It is easy, but it contains some small techniques such as single and double step of Pawn.

**H1346** Christer Jonsson  
C+ (Sweden)



H#3 4sols (3+10)

1.Rb5 Bb4 2.axb4 Sa3 3.Ka5 Sc4#  
1.Bb5 Sb4 2.axb4 Be7 3.Ka5 Bxd8#  
1.Kc6 Bd6 2.Rb6 Kd3 3.Kb5 Sd4#  
1.Qd6 Sd4 2.Kc5 Kd3 3.Kb4 Bxd6#

須川：綺麗な対比の4解。単騎の2解が難しかった。

●前半の2解はb4捨てのZilahi、後半の2解は初手と3手目が入れ替わる exchange of moves のテーマ、という構成のHOTFです。

●手のダブりが多い(特に前半の2解)のが

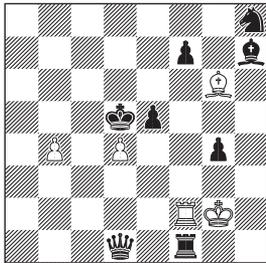
欠点ですが、この組み合わせ自体はまずまず  
でしょうか。

Sunouchi : Two sets of contrasts  
between white S & B.

Oikawa : The "same point" obsession. It  
was interesting.

TF : It is TF Helpmate with the first two  
solutions being Zilahi (captured on b4),  
and the second two solutions being an  
exchange of moves theme which the  
first and third moves are interchanged.  
It is a pity some moves are repeated but  
the combination of solutions is nice.

**H1347** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



H#3 (5+8)

b) Pf7→e2

a) 1.exd4 Rc2 2.Rf6 Bf5 3.Rd6 Rc5#

b) 1.Qxd4 Be8 2.Bd3 Rf6 3.Bc4 Bc6#

● 白の R, B によるスタンダードな対比に、  
黒 R, B の対比と初手の同地点着手が加わっ  
て、充分作品になっています。ヘルプにおけ  
る手筋ものといった感じですね。

太刀岡 : 丁寧な固い対比。

須川 : b) に苦戦しました。

● ちなみに Jones さんはプロバラ初期 (私  
が生まれるよりも前!) から作品を投稿して  
くださっている超常連。最近作品集を出版さ  
れたので、この機会に購入しておきましょう。  
Oikawa : "Rc2 to Bf5" and "Be8 to Rf6"

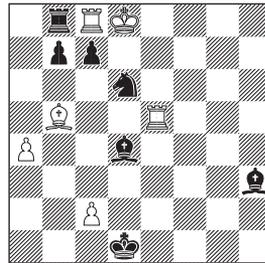
are good procedures.

Sunouchi : Enjoy aerobatics moves after  
capturing on d4.

TF : "Rc2 to Bf5" and "Be8 to Rf6"  
are visually clear contrast. h8S is  
disappointing, but still an economical  
setting.

TF : He's been a regular contributor to  
Problem Paradise since before I was  
born. I recently bought his collection :  
『Selected Helpmates 1989-2021』, it is  
very interesting!

**H1348** Michel Caillaud  
C+ (France)



H#3 2sols (6+7)

1.c6 c3 2.Bxc3 Bxc6 3.Bd2 Bf3#

1.c5 c4 2.Sxc4 Rxc5 3.Sd2 Rc1#

● 同じ file の双方 P が同じように動き、さら  
に P を取った駒で d2 をブロックする完璧な  
対比構造。

須川 : 全てにおいて対比が素晴らしいが、序  
が凄い。

太刀岡 : シングルステップとダブルステップ。

● Caillaud さんの作品はどれも、いとも簡  
単に作ったように見える (つまり無駄な力が  
入っていない) というところが偉大です。本  
作もその例に違わず、初形から美しさを感じ  
ますね。詰将棋作家が最も共感できる作家の  
一人だと思います。

Sunouchi : Trimmed solutions to gather

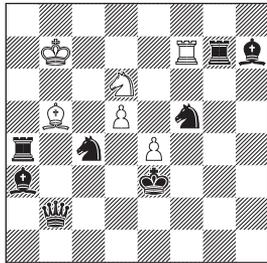
around the lower side.

Oikawa : The difference between the movement of the Pawn and the pieces to be captured. It was clear and interesting.

TF : Both sides of Pawn on the same file moving in the same way, and blocking d2 with the piece that capture white Pawn.

A perfect contrasting structure in the two solutions!

H1349 Jorge Kapros  
Christer Jonsson  
C+ (Argentina, Sweden)



H#3 2sols (6+8)

- 1.Bb4 Bxc4 2.Sd4 Bf1 3.Bxe4 Sc4#
- 1.Rg6 Rxf5 2.Sd2 Rf1 3.Rxe4 Sf5#

●線駒が critical square を飛び越えてから S を跳ねる、いわゆる Brasil theme の作品です。その味付けとして、unpin・黒 S の役割変換・e4 の同地点着手とおまげが 3 つも付いて、この類型としては上出来の部類でしょう。

須川:ピンを外して跳び駒を引いて S で決める。綺麗な流れ。

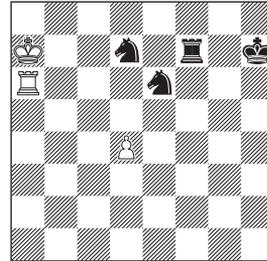
●このテーマは Onkoud さんが少し前にプロパワで多く発表されていましたが、どの作品も似ているようで違いがあります。プロブレムの鑑賞では、その細かな違いを見極めることも重要になってきます。

Oikawa : Perfect composition.

Sunouchi : Elaborate compositions with nice self-interferences.

TF : It' s a Brasil theme that is sometimes seen in Problem Paradise. However, it is well done, with three extras: unpin, exchange of functions by two black Knights, and play on the same square on e4.

H1350 Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



H#3.5 2sols (3+4)

- 1...Rd6 2.Kh8 Rxd7 3.Rh7 Rf7 4.Sg7 Rf8#
- 1...d5 2.Sg7 Rh6+ 3.Kg8 d6 4.Kf8 Rh8#

● 2 つの詰上りにおいて、黒 K と白 R の位置が入れ替わっているというのがテーマ。その実現で精一杯で、他に好手や対比が無いのは残念なところ。

太刀岡 : P は成れそうで間に合わない。

須川 : 1 解目で白 P の存在が浮いてしまうのは少し寂しい。

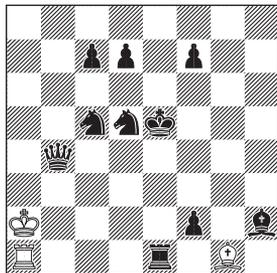
●及川さんの英語短評が、まさにテーマを言い当てています。お見事。

Sunouchi : Make haste slowly for white to approach the goals.

Oikawa : The final position exchange between King and White Rook. Nice.

TF : Oikawa's comment exactly hit the theme.

Aleksandr Pankratiev  
**H1351** Aleksey Ivunin  
 C+ (Russia)



H#3.5 2sols (3+10)

1...Rxe1+ 2.Kd6 Re8 3.Be5 Bh2 4.c6  
 Bxe5#

1...Bxh2 2.Ke6 Bxc7 3.Re5 Re1 4.Sf6  
 Rxe5#

●初手の駒取りから anti-critical move、そして最終手 e5 着手まで、全体に対比が張り巡らされています。

太刀岡 : B には B、R には R。

須川 : 追いかけてこか鬼ごっこのような手順で楽しめる。

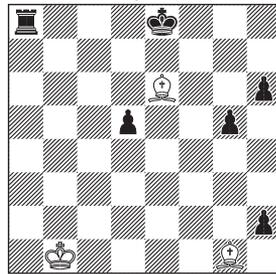
●これくらいの手数で、コントラストに一つの破綻も無いのは凄いですね。配置も洗練されています。

Oikawa : The line piece moves a lot and it feels good.

Sunouchi : Thematic capturings are uncommon and humorous.

TF : White line pieces run on the ruts of black line pieces. The whole procedure is perfect contrast! Very well done.

Rolf Wiehagen  
**H1352** Christer Jonsson  
 C+ (Germany, Sweden)



H#4 2sols (3+6)

1.h1=B Bxd5 2.0-0-0 Bc4 3.Bc6 Bh2  
 4.Bd7 Ba6#

1.g4 Bd7+ 2.Kf7 Bb6 3.Kg6 Bd8 4.Kh5  
 Be8#

●白 B2 枚でのメイト探し問題です。

須川:ほとんどBの手で大模様の作品ですね。太刀岡:右に行く順でRをブロックするのが好き。

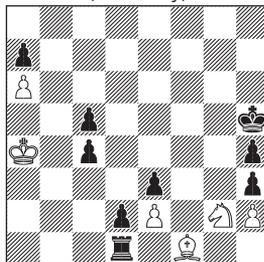
●手順が左右で分裂していて、この作者としてはテーマが不明確な作品です。

Sunouchi : Bishops travel around the world for their mission.

Oikawa : It took a while to solve the solution to castling.

TF : All White's moves are Bishop. Under-promotion and castling appear in only one solution.

**H1353** Reinhardt Fiebig  
 C+ (Germany)



H#4.5 (6+9)

1...Sxh4 2.Rb1 Bxh3 3.Rb7 axb7 4.Kxh4  
b8=Q 5.Kxh3 Qg3#

●いつも易しく楽しい長編を投稿してくれる  
Fiebig さんの作品。最近のプロパラヘルプ  
コースにおける癒し枠でしょうか。

●白は Q を作ってから 1 手しか指せないの  
で、詰上りの想定は付くはず。K を h2 に運  
ぶための連続捨てが狙いでした。結構新鮮な  
印象。

太刀岡：一直線だが駒が減るのは爽快。

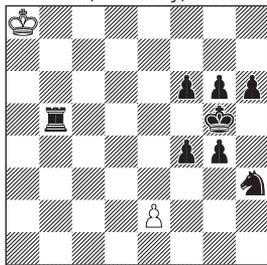
須川：駒を取った S と B を K で取り返す様  
がユニークです。

Sunouchi : Wonderful surprise because  
of devoted sacrifices.

Oikawa : Go to the trout to be captured.

TF : Two white important-looking pieces  
are taken. A humorous composition!

**H1354** Reinhardt Fiebig  
C+ (Germany)



H#5 (2+8)

1.Kh4 e3 2.Rh5 Kb7 3.Kg5 Kc6 4.Kf5  
Kd5 5.Rg5 e4#

●成るのが間に合わないと気付けば、白 K  
を運ぶしかありません。アンバツサン対策に  
1.e3 とするのが思慮深い手で、これで作品  
全体に一本筋が通った感じがあります。ただ  
5 手を支えるには、それだけではチト弱いで  
しょうか。

太刀岡：P は 1 つずつ動かす必要がある。

須川：ひたすら P を前進させて頭を悩ませ

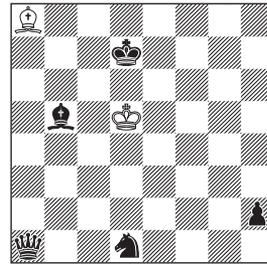
ました。瓢箪から駒の驚きの手順。

Oikawa : One idea to block the retreat.

Sunouchi : Unique as a kind of castling  
on the middle rank.

TF : 1...e3 to prevent en passant is  
crucial. Black King and Rook moves are  
interesting.

**H1355** Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



H#6 (2+5)

1.Qh8 (Qf6?) Kc5 2.Ke6 Bh1 3.Kf5 Kd5  
4.Kg4 Ke4 5.Kh3 Kf3 6.Qh4 Bg2#

●黒 Q と白 B の隅から隅への移動 (corner  
to corner move と言います) が鮮烈。その  
意味付けは最後に判明します。

●配置も洗練されていて、長編 Help として  
文句の無い作り。この作者は長編のスペシャ  
リストで、いつも上手い作品を投稿してくだ  
さいます。

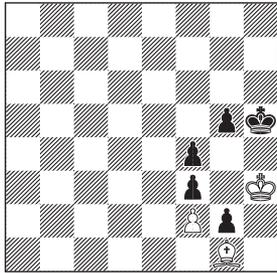
太刀岡：最遠移動が良い。

Oikawa : Procedure that takes advantage  
of corner-to-corner.

Sunouchi : Diagonal max-moves by both  
are very impressive.

TF : The corner to corner moves on  
both sides are brilliant! This amazing  
procedure is achieved with only 7 pieces.

**H1356** Sébastien Luce  
C+ (France)

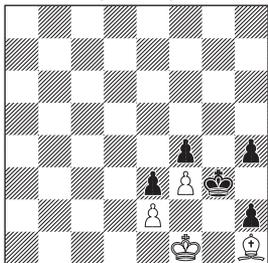


H#6 2sols (3+5)

1.g4+ Kh2 2.g3+ fxc3 3.f2 Kh3 4.f1=B  
Be3 5.Bd3 Bxf4 6.Bg6 g4#  
1.Kh6 Bh2 2.g1=S+ Kg4 3.Sh3 Kf5  
4.Kh5 Bxf4 5.Kh4 Kg6 6.g4 Bg3#

●使用駒 8 枚の好形ですが、ここから限定された 2 手順が出てくるのはそれだけで驚きです。最後はどちらも綺麗なメイト。  
須川：B と P で詰形を作るのはなかなか難しいですね。S にプロモーションする方が特に。  
Sunouchi：Complex Bg3# is harder to find than plain g4#.  
Oikawa：Good assembly of "Bh2 ~ Sh3."  
TF：Playing in a small garden. It was very surprising to see two different procedures appear from a simple initial position! Model mates.

**H1357** Sébastien Luce  
C+ (France)

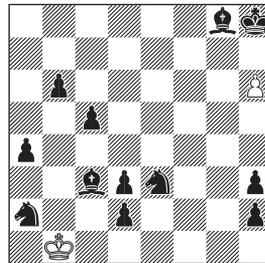


H#6 (4+5)

1.Kh3 Bg2+ 2.Kg3 Bh3 3.h1=S Bg4  
4.Kh2 Bh5 5.Kh3 Kg1 6.Sg3 Bg4#

●易しいながらも、B の趣向的な運動 (zig-zag) が楽しめます。  
太刀岡：狭いところでパズルするのが楽しい。  
須川：手は狭いがやり取りは面白い。  
Sunouchi：Make short steps including a tempo and a zigzag.  
Oikawa：Bishop's staggered steps are interesting.  
TF：Everyone can enjoy this zig-zag. Of course, it was well received by Japanese solvers!

**H1358** Mihaiu Cioflanca  
C+ (Romania)



H#6 2sols (2+12)

1.h1=B h7 2.Kg7 h8=B+ 3.Kh7 Bxc3  
4.Be4 Bb4 5.Kh8 Bxc5 6.Beh7 Bd4#  
1.b5 h7 2.Kg7 h8=Q+ 3.Kf7 Qxc3 4.Ke6  
Kb2 5.Kd5 Qe5+ 6.Kc4 Qe4#

及川：昇格する駒種の違いでガラリと変化。どちらも c3 で B を取る所が良いですね。  
●3 手目以降が流石にガラリと変わり過ぎていて、2 解の本質を見失っているような感じも受けてしまいました。例えば、最終手を同地点着手に出来るだけでも相当引き締まった印象を与えられると思うのですが。  
●ここからは日本語短評がゼロになってしまい、及川さんに日本語でも登場してもらって

います。

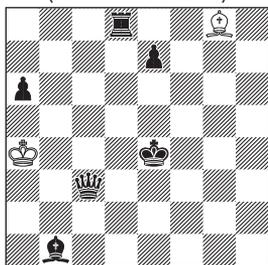
Sunouchi : Pivoting B is thoughtful.

Fainting Q is attractive.

Oikawa : It changes drastically depending on the difference in the type of piece to be promoted. Both are good where they capture Bishop at c3.

TF : Two kinds of promotion. It's a pity that many of the pieces don't move on the lower left corner.

**H1359** Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



H#6.5 v (2+6)

1...Ba2 2.Qc7! Kb3 3.Kd5 Kb4+ 4.Kc6 Bg8 5.Bg6 Kc4 6.Kd7+ Kd5 7.Be8 Be6#  
Try: 1...Bh7+? 2.Kd5 ?? 3.Qc7 Kb3 4.Bg6 Bg8+ 5.Kc6 Kc4 6.Kd7+ Kd5 7.Be8 Be6#

●本手順は大きなBのSwitchBackが見事です。

●見るべきは1...Bh7+のTry。これでも本手順と同様に詰みそうですが、黒がBg6と指す関係で白2手目に手待ちが利かないのです！これがテーマであるSwitchBackの装飾というか演出になっています。流石の構成力。

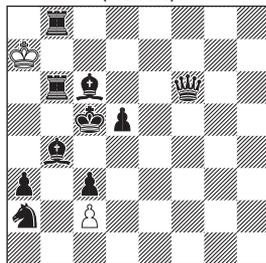
及川 : 鮮やかで見事なスイッチバック。

Sunouchi : Choose the timing of max moves for switchback.

Oikawa : Brilliant and stunning switchback.

TF : Long SwitchBack in actual play and no tempo move in try play. Nice long helpmate by a master of this field!

Aleksandr Pankratiev  
**H1360** Kirichenko Anatoly  
C+ (Russia)



H#7 (2+10)

H1360 C+  
Aleksandr Pankratiev  
Kirichenko Anatoly  
(Russia)

1.R6b7+ Ka6 2.Ba5 Kxa5 3.Rb5+ Ka4 4.Sb4 Kb3 5.Qd6 Kxc3 6.Sd3 cxd3 7.R8b6 d4#

●白Kが完全に閉じ込められていて、これをどうやって解放してやるかというパズルになっています。

●詰む形は非常に限られているのですが、それでもこれだけ手数があると簡単には解けなかったようです。

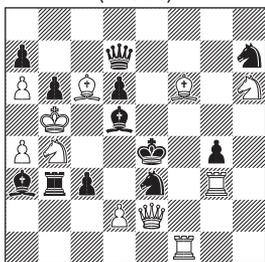
及川 : 巧みな白Kの誘導方法。

Sunouchi : Well-mannered black guides for white Majesty.

Oikawa : A skillful white King induction method.

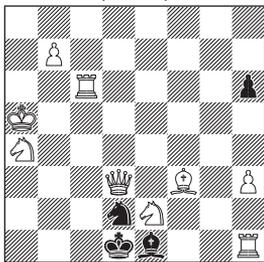
TF : Interference the line twice to carry the white King. Interesting.

Aleksandr Pankratiev  
S295 Yurii Gorbatenko  
C+ (Russia)



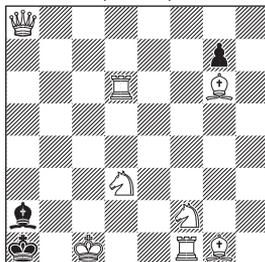
S#3 (11+12)

Alexander Fica  
S296 Jiri Jelinek  
C+ (Czech)



S#4 (9+4)  
b) Ka5→g2

S297 Milomir Babic  
C+ (Serbia)



S#12 (8+3)

## Selfmate

### Selfmate Editor

Hiroaki Maeshima (前嶋啓彰)

Judge 2021-2023

Kohey Yamada (山田康平)

☆今号は3題。次号以降はWeb掲載となりますので、紙媒体でお送りするのは今号が最後となります。

☆開催しておりましたTadashi Wakashima-70 JTですが、おかげさまで79作の投稿をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。現在審査中です。

☆S295はセルフメイトらしい筋が多く、今号では最も自然に解けると思います。

☆S296はピンされている黒の駒が主役になるので、どのようにピンを外すかがポイントになります。

☆S297は難解作。白は黒Pを白Kの近くまで連れてくる必要があります。その際に経路を限定できるようにします。さらに、黒Kにも白Kの逃げ道を塞ぐ役割を持たせる必要があります。

## Issue 98 (S287-291)

Valery Kopyl  
S287 Gennady Koziura  
C+ (Ukraine)



S#3 (10+10)

1.Ba4 (2.Se7+ Kd6+ 3.Qe5+ Rxe5#)  
1...Sc5 2.Rxc5+ Rxc5 3.Qd4+ Kxd4#  
1...Rc2 2.Bc6+ Rxc6 3.Qd4+ Kxd4#

及川：Rc2～Bc6+が盲点でした。Rc2～Bc6+ was a blind spot.

黒川：スレットの発見に苦労した。

須川：Rc2のディフェンスが実に味わい深い

太刀岡：全ての変化でQを捨てる。

中嶋：Ra5の動きを制限する

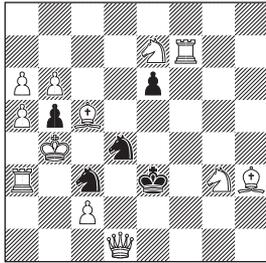
☆4段目にMasked royal batteryがあります。これを開くのが初手で、黒Kを適切に

移動させてメイトにします。 1...Rc2 は白のSのピンを外すことで最終 3...Rxe5 に対して 4.Sxe5 を用意させるディフェンスです。

☆セルフメイトらしい手筋が多い作品です。

☆ Plenty of selfmate-specific motifs.

**S288** Alexander Fica  
C+ (Czech Republic) Jiri Jelinek



S#4 (12+5)

b) Kb4 → Ka5

a) 1.Bf1! e5 2.Se4 Kxe4 3.Bd3+ Ke3  
4.Sd5+ Sxd5#

b) 1.Bxe6! b4 2.Sf1+ Ke4 3.Qg4+ Ke5  
4.Sc6+ Sxc6#

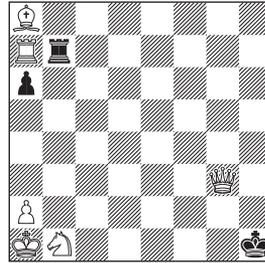
黒川：白の手が広いので難しい。

須川：黒の指す手が限定させるので考えやすかったです

☆白Kの位置が異なるTwinです。b)のSxc6の形は白Kがb4でもメイトになりうるのですが、a)で1.Bxe6?はスタイルメイトになります。異なったSでメイトになるのも嬉しいところ。

☆ Stalemate-avoidance and exchange of functions.

**S289** Nikolay Akimov  
C+ (Kazakhstan)



S#4\* (6+3)

Set: 1...a5 2.Ra6 a4 3.Rb6 a3 4.Rb2  
4.axb2#

1.Qf2! a5 2.Ra6 a4 3.Rg6 a3 4.Qb2 axb2#

及川：取る駒の違い。Difference in pieces to capture.

黒川：きれいな対比。

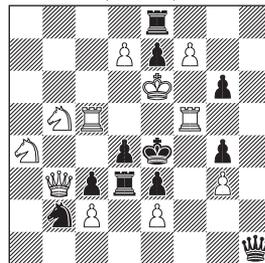
須川：シンプルで分かりやすく初心者でも楽しめる

太刀岡：易しく楽しい。

☆メイト形はaxb2#であることが見えやすいので、どの駒をb2に捨てるかを考えることになります。Setと本手順でRとQの役割が交換されるのが面白いところです。

☆ Mates are easy to find, but the exchange of functions between wR and wQ gives a harmony.

**S290** Aleksandr Pankratiev  
C+ (Russia)



S#4 (11+11)

黒川：Sxc5# の形から手順を発見。力技という印象。

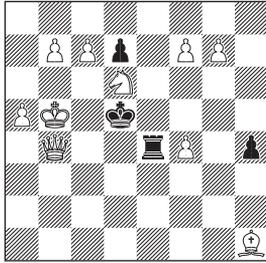
中嶋：Sb2 を Sc5 へ持ってくる手順がいいですね

須川：スレットでは R を作意では S をですぬ

☆黒 P の壁の反対側から駒を連れてきます。

☆ pull the pieces beyond the pawns.

**S291** Milomir Babic  
C+ (Serbia)



S#8 (10+4)

1.g8=S! h3 2.b8=S! h2 3.Sa6 Ke6  
4.f8S!+ Kd5 5.Qc3 Kxd6 6.c8S!+ Kd5  
7.Sb6 Kd6 8.Qc6 dxc6#

☆難解作です。a6 と b6 を塞いで dxc6 とするのがメイト形ですが、c6 に利かせずにそれが最速でできるのは S+S で塞ぐ形です。

☆慌てて 1.b8=S は 1...Ke6 から R を解放されて失敗するので、1.g8=S として黒の Ke6 に対して f8=S を用意するのが周到なところ。このようにして 4 つのナイトのプロモーションの順序が決まります。

☆ No one could solve this.

☆ It is appealing that the order of 4 promotions to knight is unique.

## 海外誌購読斡旋について

JCPS ではこれまで海外誌購読の斡旋を行ってきましたが、事務作業の軽減のため、

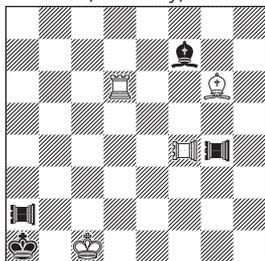
2023 年度よりこのサービスを終了させていただきます。

引き続き海外誌の購読を希望される方、もしくは新規で購読を希望される方は、まことにお手数ですが、各自でお手続きをお願いいたします。昔に比べて、海外送金の手続きはずっと楽になっていますので、どうぞご心配なく。

現在、主要なプロブレム誌は、すべて PayPal を通して申し込みできるようになっています。まず PayPal (<https://www.paypal.com/jp/home>) でアカウントを作成します。支払い方法はそちらの説明をお読みください。"Subscription for the year 2023" と書けばオーケーです。

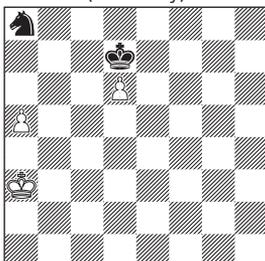
- \* The Problemist (年 6 冊)  
25 GBP (21 歳以下は半額)  
5 GBP (pdf 会員)  
上記の金額に手数料 5% を加える。  
British Chess Problem Society  
([theproblemist@yahoo.co.uk](mailto:theproblemist@yahoo.co.uk))
- \* Die Schwalbe (年 6 冊)  
45 Euro + 手数料 6%  
Schwalbe  
([kassenwart@dieschwalbe.de](mailto:kassenwart@dieschwalbe.de))
- \* Phenix (年 8 冊)  
46 Euro + 手数料 4 Euro  
Phenix Echecs Association  
([travailphenix@gmail.com](mailto:travailphenix@gmail.com))
- \* feenschach (年 4 冊)  
40 Euro + 手数料 4%  
Bernd Ellinghoven  
([be.fee@t-online.de](mailto:be.fee@t-online.de))
- \* Probleemblad (年 4 冊)  
35 Euro  
Marcel Van Herck  
([mvh361@gmail.com](mailto:mvh361@gmail.com))
- \* StrateGems  
2023 年度より廃刊になりました。

**F1341** Stephan Dietrich  
C+ (Germany)



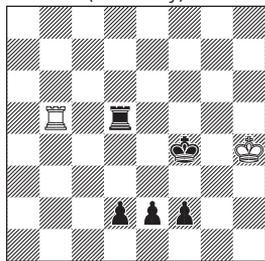
#4 (4+4)  
Breton  
Rook-Locust 1+2

**F1342** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



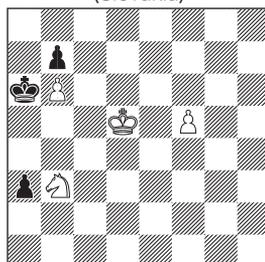
#5 (3+2)  
MinDister a3 d7

**F1343** Ralf Krättschmer  
C+ (Germany)



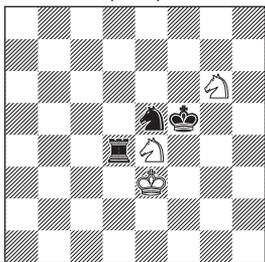
S#6 (2+5)  
b) bPd2→e7  
Min Dister b5 d5

**F1344** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



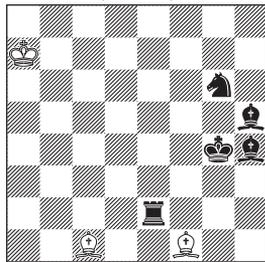
S+3 (4+3)  
Maximummer

**F1345** Kostas Prentos  
C+ (USA)



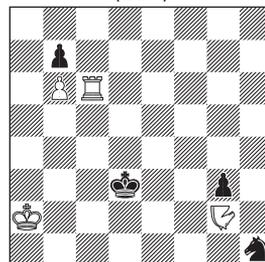
H#2 2 Sols (3+3)  
Take&Make AntiTake&Make

**F1346** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



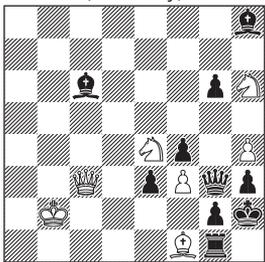
H#2 (3+5)  
b) bKd1 2 Sols  
Circe

**F1347** Kevin Begley  
C+ (USA)



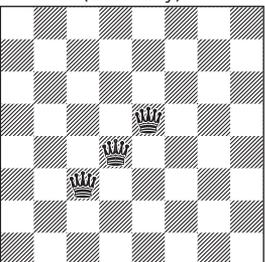
H#2 (4+4)  
b/c) wRc6→B/S  
Psycho-Knight g2

**F1348** Hubert Gockel  
C+ (Germany)



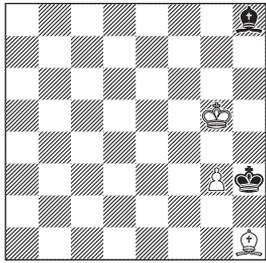
H#2 (7+10)  
b) -bRg1  
Breton adverse

**F1349** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



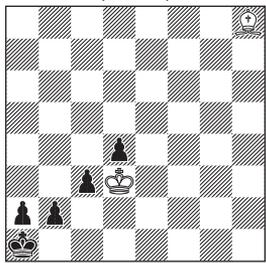
H#3 (0+3)  
b) bQ→bB H#4  
WandelSchach

**F1350** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



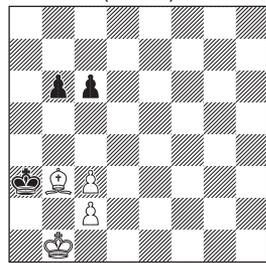
H#3 (3+2)  
b) H=3

**F1351** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



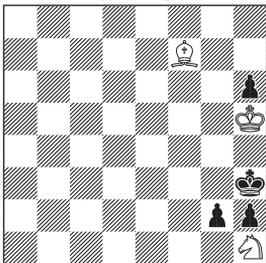
(\*) H=2 (2+5)

**F1352** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



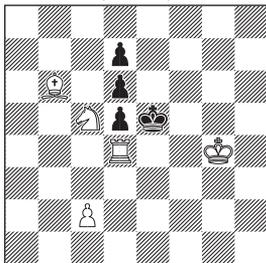
H=2 2 Sols (4+3)

**F1353** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



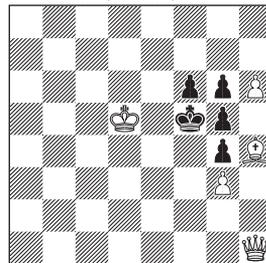
H=2 2 Sols (3+4)

**F1354** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



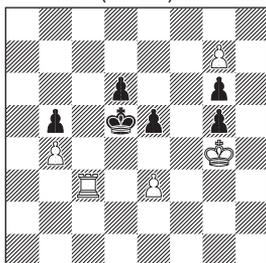
(\*) H=2 (5+4)

**F1355** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



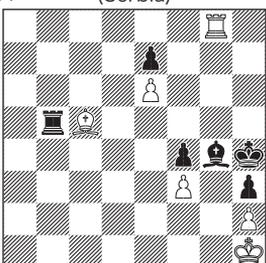
(\*) H=2 (5+5)

**F1356** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



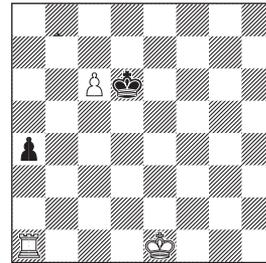
(\*) H=2 (5+6)  
b) After the key

**F1357** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



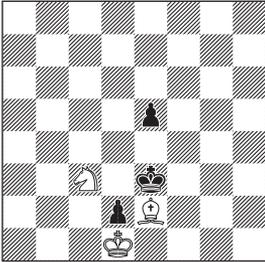
H=2 Duplex (6+6)

**F1358** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



H=3 2 Sols (3+2)

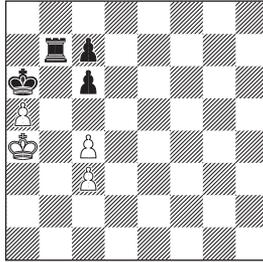
**F1359** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=3  
b) wBe2→e4

(3+3)

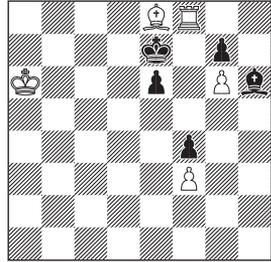
**F1360** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=3 Duplex

(4+4)

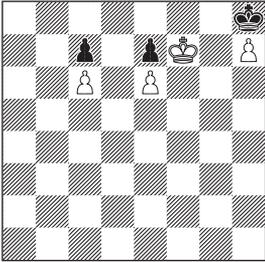
**F1361** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=3  
b) bKg5

(5+5)

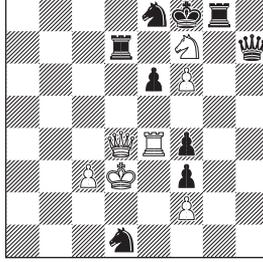
**F1362** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



(\*) H=4

(4+3)

**F1363** Abdelaziz Onkoud  
C+ (Morocco)

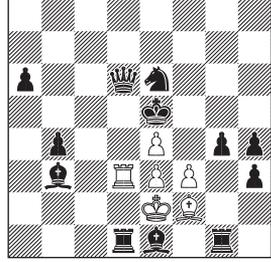


HS#3

(7+9)

b) wPc3→c4

**F1364** Abdelaziz Onkoud  
C+ (Morocco)

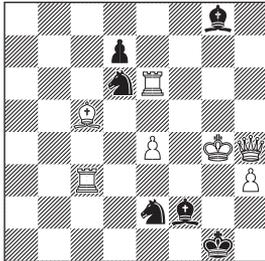


HS#3.5

(6+12)

b) -bSe6

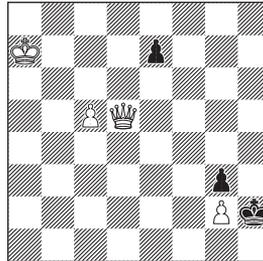
**F1365** Žarko Pešikan (†)  
C+ (Serbia)



SH=10

(7+6)

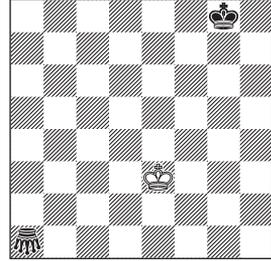
**F1366** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SH=12

(4+3)

**F1367** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



SR#4 2 Sols

(1+2)

Grasshoper a1  
Sentinelles Make&Take



# Fairy

## Fairy Editor

**Vlaicu Crisan (Romania)**

## Judge 2022

**Narayan Shankar Ram (India)**

Many thanks to all composers who answered to my appeal: I am able to present 33 originals in our last issue from 2022! I hope you will help me keep the momentum in the next year.

Stephan offers a nice introduction **F1341** which he writes "*failed in Breton TT*". What I can say from my own experience is that a composition is never a failure. Even when a problem is not retained in an award, it still has many chances to attract the attention of other readers. You will soon discover the solution after figuring out why 1.Rb6? and 1.Bxf7[-wBf7]? don't work. In the next two problems Andreas and Ralf continue their exploration of the highly interesting Dister condition which made the object of Andernach meeting composing tournament earlier this year. We conclude the antagonistic stipulation with the miniature **F1344** kindly provided by our esteemed Slovakian contributor – a kind of Letztform for a well-known theme.

The six helpmates should satisfy all tastes. In **F1345** all moves are captures, hence both capturing and captured pieces fly in all directions like the balls in the pool. Please don't miss that in Eligiusz' s aristocratic setting **F1346** both twins have two solutions. Kevin's

**F1347** features his pet fairy pieces called Psycho. A Psycho-Knight can move like a Rook and then turns into a Psycho-Rook or like a Bishop and then turns into a Psycho-Bishop. A Psycho-Rook can move like a Knight and then turns into a Psycho-Knight or like a Bishop and then turns into a Psycho-Bishop. A Psycho-Bishop can move like a Rook and then turns into a Psycho-Rook or like a Knight and then turns into a Psycho-Knight. In Hubert' s **1348** we can see Breton adverse: when a piece is captured, another piece of the same kind of the captured side must also disappear (if there are any). Don' t be too surprised there is no black King in Andreas' s **1349**! WandelSchach: A piece (King excluded) moving to a square occupied in the game-array transforms into a piece of the same kind and colour as the one which is there in the game-array. The last helpmate makes the transition to the helpstalemates.

We have 12 helpstalemates, some of them with set play, others with duplex, some with twins and others with multi-solutions. All these are both solving friendly and composing inviting. Do you get inspiration to compose something after solving them? Then please submit your composition to Problem Paradise!

Abdelaziz submitted his first two contributions **F1363** and **F1364** in our pages – both are helpselfmates. Abdel who recently turned 50 just discovered this stipulation while attending the WCCC in Fujairah and submitted his first attempt to our fairy column – hope to see your new compositions soon!

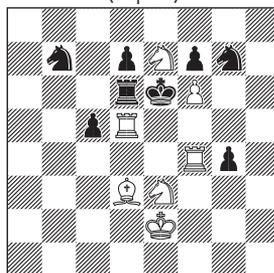
According to Chess Composers blog, Žarko died in 2009 and developed a certain style in series problems. His original **F1365** was kindly submitted by Slobodan and you will definitely enjoy the surprising final position! This problem is an excellent introduction for our 9 serial problems. In **F1366** a check which is not a mate is illegal. The SR means Series-Reflex, so both sides must deliver mate if possible. Under Make&Take rules to capture, a piece must first make a non-capturing move as if it were of the same nature and color as the piece to be captured, and then capture by resuming its own nature and color. In **F1372**, the series consists in 20 black moves and ends with a HS=1. We have also three parry series: in **F1370** there is only one check, in **F1371** there are six and again only one in **F1373**.

The author of **F1374**, which I recieved during the recent World Chess Composition Congress, hopes you'll enjoy it, and that it is not causing too much of a hassle for the solvers. The white King will be eventually mated on a3, but there is quite a long journey he has to perform.

Please keep sending your comments to all the published originals – the solvers' perspective is essential for both composers and judges. We can all learn from what you write! Good luck and well-deserved seasonal greetings to all of you.

## Issue 98 (F1278-1313)

**F1278** Atsuo Hara  
C+ (Japan)



#2 (7+8)

b) bSb7↔bPc5  
c) bRd6↔bSg7  
Annan Chess

- a) 1.Re4! (A) [2.Sd4# (B)] 1...Sd8  
2.Rexd6#
- b) 1.Sd4! (B) [2.Bf5# (C)] 1...Sb3/Se4  
2.R(x)e4#
- c) 1.Bf5! (C) [2.Re4# (A)] 1...Rg5  
2.Sf3#

Author: Reeves Cycle at Annan Chess Condition.

Tachioka: Cycle of key and threat is good.

Oikawa: White's first move and threat are cyclic!

Sugawa: Annan chess is hard.

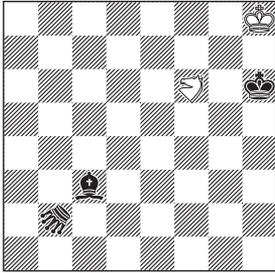
Crisan: Very difficult conception. The whole solution is based on the creation of three Annan-specific white batteries featuring the thematic pieces. It is quite remarkable the author managed to show some by-play in each phase!

Sébastien Luce

F1279

(France)

C+ Ded. to B. Kampmann



S#17

(2+3)

Black plays only to

give double check

Contra-Grasshopper b2

Knight-Bishop hunter f6

- 1.Kg8! 2.Kf7 3.Ke6 4.Kd5 5.Kc4 6.Kb3
- 7.Ka2 8.Ka1 CGd4+ 9.Ka2 10.Kb3
- 11.Kc4 12.Kd5 13.Ke6 14.Kf7 15.Kg8
- 16.Kh8 17.SBg8 CGb2#

Author: White King Rundlauf, from corner to corner (opposite), in the purpose to expose it to check in a1, allowing the mating switchback of the Contra-Grasshopper on the long diagonal.

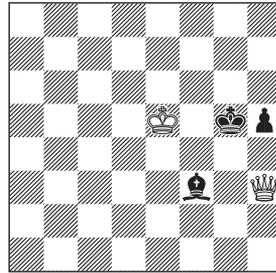
Tachioka: Round trip to opposite corner.

Crisan: The author skillfully managed to avoid the annoying dual lines such as 8...CGe5 or 17...CGa1 due to the Contra-Grasshopper particular movement and the fairy condition "Black plays only to give double check".

F1280

Ken Kousaka

(Japan)



H#2 3 Sols

(2+3)

1 Total Invisible

- 1.Bg4 Qg2 2.Bf5 TIXf5[If5=wS]#
- 1.Be4 Qe3 2.Bg6(TI on f4) Qxf4#
- 1.h4 Ixh4 2.Bg4 Ixg4[g4=WR]#

Tachioka: Three different invisibles are nice.

Sunouchi: Bishop and pawn act as property men in magic.

Editor: Sugawa's solution 1.h4 Qe6 2.Bh5 Ke4#?? does not work because in chess problems with Invisibles, check must be proved.

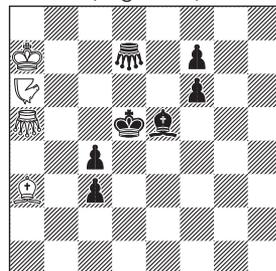
Crisan: Is anyone able to compose a problem where the Total Invisible turns into 4 different pieces?

F1281

Jorge Kapros

C+

(Argentina)



H#2 2 Sols

(4+7)

Grasshopper a5,d7

Niahtrider a6

1.Ke6 Bf8 2.Gf5 Nc5#  
 1.Kd4 Ng3 2.Gd3 Bc5#

Tachioka: c5 is the Intersection of three lines.

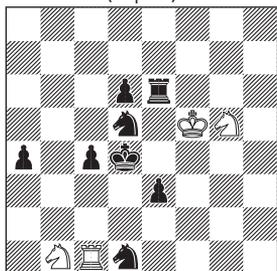
Oikawa: Checkmate by moving to the same square. I think Gd3's solution is better done.

Sugawa: I'm dazzled by the handedness of the pieces.

Sunouchi: Some get ahead of him, some guard against him.

Crisan: A delightful gem, with excellent usage of the fairy pieces.

**F1282** Atsuo Hara  
 C+ (Japan)



H#2 2 Sols (4+8)  
 Take&Make

1.S1c3 Se4 2.Rxe4-c5 Rxc3-d1#  
 1.Re4 Rc3 2.S1xc3-d3 Sxe4-e6#

Author: WCCT-10 theme – invisible capture.

Tachioka: Good contrast of S and R.

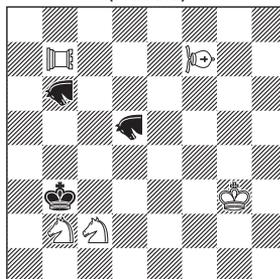
Sugawa: I'm glad I solved it with the first rule.

Sunouchi: Methodically exchange places up to the last ones.

Crisan: In orthodox chess, White needs one move to capture on d1 and e6. Under Take&Make rules, the black piece must actively sacrifice itself to allow the

access of white pieces on the mating square. A specific idea, nicely executed.

**F1283** Aleksandr Pankratyev  
 C+ (Russia)



H#2 2 Sols (5+3)  
 Pao b7, Vao f7, Nao b6, d5

1.NAb4 Se3 2.Ka3 Sec4#  
 1.NAc4 Sd3 2.Ka2 Sdb4#

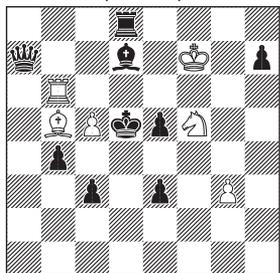
Tachioka: Initial double check is funny.

Oikawa: Nao's shield stands on the line between Pao and Vao.

Sunouchi: Well-positioned knights outperform degraded naos.

Crisan: Purists might deplore the Pao and Vao are in turn useless in one mating position. However each of them parries some nasty cooks, so they are really necessary. The legality of the initial position is not essential in fairy compositions.

**F1284** Pierre Tritten  
 C+ (France)



34 H#2 3 Sols (6+9)  
 Rifle

1.Bxf5(>Bd7) Bd3 2.Kd4 Rd6# (3.Kxc5??)  
 1.Bxb5(>Bd7) Rb7 2.Kc6 Se7# (3.Kxb7??)  
 1.Qxb6(>Qa7) Kg7 2.Ke6 Bc4# (3.Kxf5??)

Author: Cyclic capture of white thematic piece, allowing black King move at B2.

Cyclic Zilahi with specific mates.

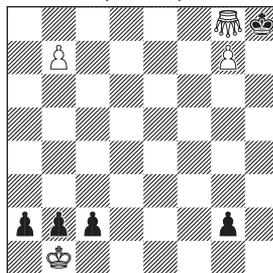
Tachioka: Cyclic zilahi.

Sugawa: Rifle characteristics are well expressed.

Sunouchi: Acrobatic situations add nice spice to cycle Zilahi.

Crisan: Cyclic Zilahi is Pierre' s pet theme – he can show it with [m]any fairy conditions! Rifle seems to be an original choice. Lovely and well done!

**F1286** Sébastien Luce  
 C+ (France)



H#5 (4+5)

ABC, Malefic Circe  
 Yggdrasil piece b1, h8  
 Grasshopper g8

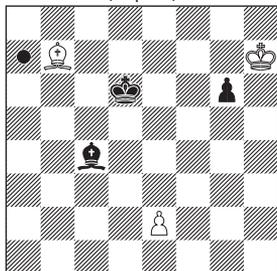
1.a1=R Kxa1 2.b1=S Kxb1 3.c1=B Kxc1  
 4.g1=G b8=Q 5.Gxg8(Gg1) Qxg8#

Author: Black successively promotes to Rook, Knight, Bishop which are captured on their Malefic Circe rebirth squares, so vanish. Follow a promotion to white Queen then black Grasshopper. This one capturing in g8, provokes the rebirth on g1 of white Grasshopper which protects at the end the mating Queen. Super AUW.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: To capture the Yggdrasil King, White must first capture all black pieces. The Malefic Circe explains the choice of promoted pieces: they must not be able to appear on their rebirth squares. The super AUW is a logical consequence of this original marriage of fairy elements.

**F1285** Hironori Oikawa  
 C+ (Japan)



H#3 Duplex (3+4)

Imitator a7  
 AntiAndernach

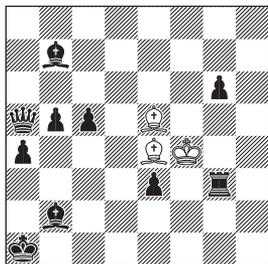
BTM: 1.Ke7[Ib8] Be4=b[Ie5]  
 2.Bd3=w[Id4] Kxg6[Ic3] 3.Kf8[Id4]  
 Kf7[Ic5]#

WTM: 1.Be4=b[Id4] Bed3=w[Ic3]  
 2.Kg7[Ib3] Ke6[Ic3] 3.Kf8[Ib4] Kf7[Ic5]#

Editor: Nobody, except the composer himself, could solve this.

Crisan: Imitator compositions are notoriously difficult to solve. Here the fairy condition is used just passively.

Themis Argirakopoulos  
**F1287** (Greece)  
 C+ Ded. to S. Luce



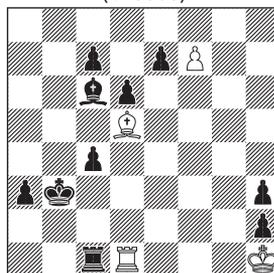
HS#2 (3+10)  
 b) bKa8  
 Rifle

- a) 1. Bb1 Qc7 2. Bxb2 (Be5) + Qxe5(Qc7)#
- b) 1. Bb8 Qb4 2. Bxb7 (Be4) + Qxe4(Qb4)#

Sunouchi: Snipers retaliate around the throne each other.

Crisan: Is W2 a Pelle move? Well, although the implementation of Rifle in Winchloe suggests that, I wouldn't say so: the original definition of Rifle says the pieces can capture without moving. To obtain the same effect, in Winchloe the capture is immediately followed by a rebirth of the capturing piece on the departure square, hence the fake theme. Regardless the theoretical debate, this problem is very elegant and solver-appealing!

**F1288** Themis Argirakopoulos  
 C+ (Greece)



HS#2.5 (4+10)  
 b) bKc8  
 Diagram AntiCirce

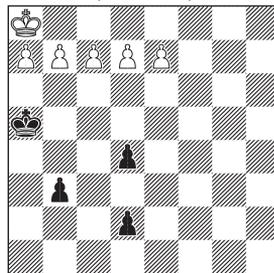
- a) 1...Ra1 2.Rb1+ Ka2 3.Bxc4[Bd5]+ Bxd5[Bc6]#
- b) 1...Ba8 2.Bb7+ Kd8 3.Rxd6[Rd1]+ Rxd1[Rc1]#

Author: Bristol bicolor, perfect ortho-diagonal transformation, cross checks and two Pelle moves in each solution.

Sunouchi: Fire fights similar to F1287 after pretty magnets.

Crisan: With Diagram AntiCirce, however, the Pelle moves are clearly executed! A nice rendering of the Romanian Tzuica Tournament from 2021, with two pairs of pieces exchanging their roles!

**F1289** Eric Huber  
 C+ (Romania)



HS#2.5 2 Sols (6+4)  
 Anticipés

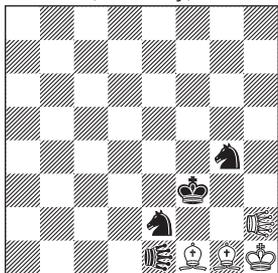
1...d1=Q 2.e8=S Qg4 3.c8=S+ Qxd7#  
 1...d1=R 2.b8=B Ra1 3.d8=B+ Kb4#

Author: Changed promotions. Two promotions of the same type by White in each solution. AUW.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: Let's examine the critical position from each solution. After 3.c8=S White threatens to promote wPd7 in Q/B. The flight b4 is guarded by the promotion of wPb7 in Q/R and the light squares are guarded by the wSs. So Black has no choice, but capture wPd7 which is actually a double check by the same piece (bQd7) – via c8 and b7. In the second solution, 3.d8=B threatens the promotion of wPc7 with check. Four out of five flights are provided: a6 by a Q promotion on c8, b6 by a S promotion on c8 and a4/b5 by a Q promotion on e8. By moving to the only left square (b4), Black threatens Rxa7, which can't be parried. A promotion in bQ at the first move would keep wPb7 pinned (via h1), which explains why only the R promotion solves. One needs some good anticipation spirit to solve such problems!

**F1290** Stephan Dietrich  
 C+ (Germany)



HS#3.5 (4+4)  
 Leo h2, e1

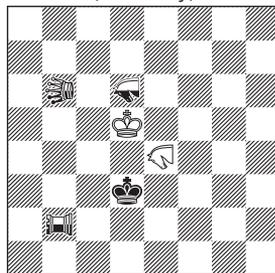
1...LEa5 2.LEe5 Sf4 3.Bd3 LEd5+  
 4.Be4+ Kxe4#

Author: This problem failed in Julia's Fairies 10 years Jubilee Tournament.

Oikawa: 2.LEe5 is a key move.

Crisan: Still, I wouldn't call this problem a failure: White selfpins and Black captures the selfpinning piece and delivers an antibattery mate. Is anyone able to double this witty idea?

**F1291** Stephan Dietrich  
 C+ (Germany)



HS#4 (2+1+3)

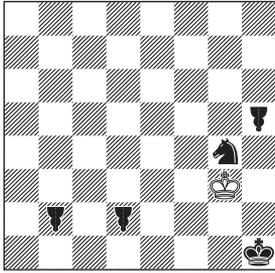
- a) 1.SAd2 Kc3 2.SAb3 nSEg6 3.SAd4 nSAc4 4.SAb5+ nFAxb5#
- b) 1.Ke6 nSAf5 2.Ke5 nSAe3 3.Kf4 nSEg7 4.SAf2+ nFAxf2#

Author: Aufbau von Echo-Mattbildern mit argentinischen Figuren.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: Very difficult, indeed! The white Saltador must be captured by a neutral Argentinean piece, which has no subsequent hurdle to avoid checking the white King. That's one reason for which the neutral Argentinean pieces are very suitable for economical chess compositions – at least compared with the orthodox neutral pieces.

**F1292** Sébastien Luce  
C+ (France)



HS#4.5 (1+5)  
Astrolog pieces b2 d2 h5

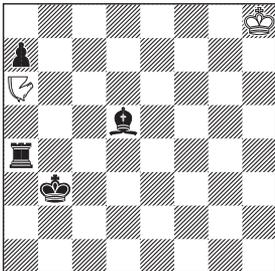
1...d1=wS 2.Kh3 b1=wR 3.Ra1=bR  
Ra3=wR 4.Rg3 h4=wP 5.Sf2+ Sxf2#

Author: The move order of the astrolog Pawns is well adjusted: a first promotion to white astrolog Knight covers the first rank, allowing a second to white astrolog Rook which will change two times of color to go to self-block in g3. And a last move by "h" Pawn also to self-block.

Sunouchi: The reversible rook is stylish as a clever tempo.

Crizan: How can a single white King force Black to deliver a selfmate in 1?! After consulting a professional astrology book, comes the answer: after two carefully chosen promotions! Congratulations, Seiichiro, for being the only one who solved it!

**F1293** Torsten Linß  
C+ (Germany)



HS#11 (2+4)  
Nightrider a6

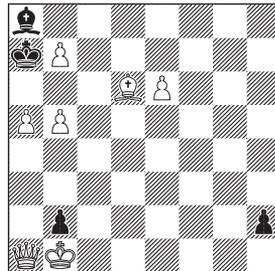
1.Kg7 Rh4 (Klasinc opening for bP, criticalmove,1... Rf4,g4?) 2.Ne4 (Klasinc opening for bP, interference) a5 3.Kf6 a4 4.Ke5 a3 5.Kd4 a2 6.Kd3 Ka3 7.Kc2 a1=N+ 8.Kb1 Nd7 (critical move, 8...Nc5?) 9.Na6 (Klasinc switchback) Bb3(interference) 10.Ka1 Ra4(Klasinc switchback) 11.Nc2+ Bxc2#

Author: N-excelsior, corner to corner march, Klasinc, Indians.

Editor: Nobody could solve this.

Crizan: After an astonishing play using the whole board, the final position is almost self-explanatory. I liked a lot the creation of the black battery and the wK journey from h8 to a1. A miraculous idea realized with perfect economy!

**F1294** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=2 2 Sols (7+4)

1.h1=B Qxb2 2.Bxb7 Qg7=  
1.Bxb7 Kxb2 2.Bh1 Qxh1=

Oikawa: The difference in pieces that capture Pawn is interesting.

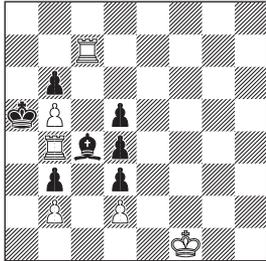
Sugawa: The second answer is difficult.

Sunouchi: Dynamic bishops are fascinated by the queen.

Crizan: The most successful composition from the whole lot of originals! The two

solutions don't display similar strategy, which makes solvers' challenge tough.

**F1295** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=3 (6+7)  
b) bPc4

a) 1.Bxb5 Rxb5+ 2.Ka4 Ra5+ 3.bxa5 Rb7=

b) 1.c3 bxc3 2.dxc3 Rxc3 3.d4 Rxc3=

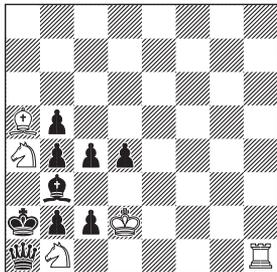
Oikawa: Loosen the situation by capturing pieces.

Sugawa: Interacting in a small area is fun.

Sunouchi: Nice and delicate twins are uneasy to find out.

Crisan: A neat exercise in delivering stalemate with two Rooks.

**F1296** Aleksandr Pankatyev  
C+ (Russia)



H=4 3 Sols (5+9)

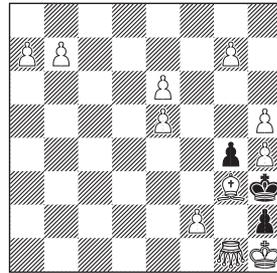
1.c1=S Sc5 2.Kxb1 Bb6 3.Ba2 Sb3  
4.cxb3 Bxd4=

1.c1=S Bb6 2.Kxb1 Sc5 3.Ba2 Sb3  
4.cxb3 Bxd4=  
1.c1=B+ Ke2 2.Kxb1 Sc5 3.Ba2 Sb3  
4.cxb3 Kd3=  
1.bxa4 Sa3 2.bxa3 Rxa1+ 3.bxa1=S Bc3  
4.dxc3+ Kc1=

Sunouchi: I hope its refinement will strike a gold vein.

Crisan: The first two solutions look actually like a cook – the only difference between them is the exchange of W2 with W3. I would have preferred a setting with wPc5 showing only the exotic last solution.

**F1297** Sébastien Luce  
C+ (France)



(\*) SH#7 2 Sols (11+3)  
Grasshopper g1

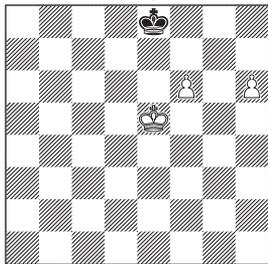
(\*) 1...Ge3 #  
1.hxg1=G 2.Ge3 3.Gxe6 4.Ge4 5.Ga8  
6.Ga6 7.Gc8 bxc8=G#  
1.hxg1=S 2.Se2 3.Sf4 4.Sxh5 5.Sf4  
6.Sg6 7.Sh8 gxh8=G#

Author: Phoenix of Grasshopper in each variation.

Sunouchi: Long trips for the rebirth of white grasshopper.

Crisan: I simply love this kind of problems: they make me think chess composition is so easy!

**F1298** Chris Feather  
C+ (UK)

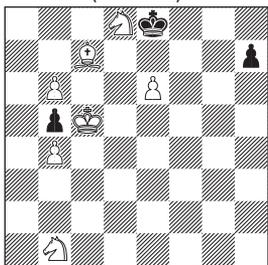


SH#18 (3+1)  
Take&Make  
Equipollent Circe

3.Kg5 4.Kxf6-f7[e8=R] 6.Kh5 7.Kxh6-  
h7[h8=B] 8.Kxh8-g7[Bg8] 9.Kxg8-  
b3[Bb4] 10.Ka4 11.Kxb4-c5[Bd5]  
14.Kd7 15.Kxe8-e7[Rf8] 16.Kxf8-  
f1[Rg2] 17.Kxg2-a2[Rb3] 18.Ka1 Rb1#

Editor: Nobody could solve this.  
Crisan: This lovely Wenigsteiner has  
it all: an economic initial position,  
two minor promotions, many specific  
moves using the full board and a rather  
surprising conclusion!

**F1299** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



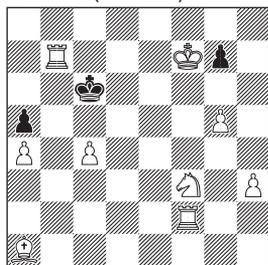
SH#21 (7+3)

5.h1=R 6.Rxb1 7.Rxb4 8.Ra4 12.b1=R  
13.Rxb6 14.Rxe6 16.Kxc7 20.Ka5  
21.Ra6 Sb7#

Author: Meredith. Excelsior. Promotions

to rooks. Ideal epaulette mate.  
Sunouchi: Unexpected finale after a  
cleanup of the left crowd.  
Crisan: Did everybody guess the black  
King will be mated on a5 just by looking  
at the initial position? Of course I am  
joking. One possible way to solve this  
kind of problems is to think the order of  
moves must play an essential role.

**F1300** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)

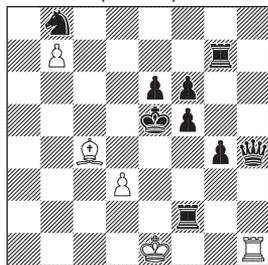


SH#23 (9+3)

2.Kxc4 5.Kxf2 6.Kxf3 8.Kxg5 9.Kh5  
14.g1=R 15.Rxa1 16.Rxa4 17.Rh4  
21.a1=R 23.Rh6 Rb5#

Author: Meredith. Walk of black king.  
Excelsior. Promotions to rooks. Ideal  
epaulette mate.  
Sunouchi: Dramatic moves as F1299  
and friendly to solve.  
Crisan: I totally agree: the epaulette  
mates are always very attractive to see!

**F1301** Sébastien Luce  
C+ (France)



SS#13 (5+9)

Relegation

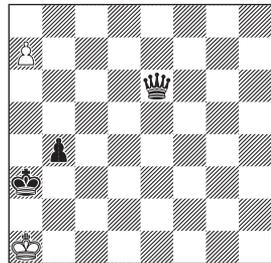
1.Ba2=P 6.axb8=R 7.Rd8 8.b8=R  
10.Rbf4 11.Rxf2=P 12.0-0 13.f4+ gxf3  
ep.#

Author: Strangely, with this condition alone, the Valladao has already been made, mainly by Erich Bartel, but not with mate as a goal! First, Bishop is degraded to pawn in a2. Follows an Excelsior with two promotions to Rook, avoiding check. The second Rook uses the right way b8-b4-f4 to capture on f2 because after Rb8-b2 immediately, the Rook would become a Pawn! Then white castling can follow with the final mate.

Sunouchi: Utilize the affinity between Relegation and Valladao.

Crisan: The construction is very clever and the theme is well masked. Congratulations, Seiichiro, for being the only one who managed to solve this!

**F1302** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



SS#16 (2+3)

7.Ka5 8.a8=Q 9.Qd5 15.Ka1 16.Qa2+  
Qxa2#

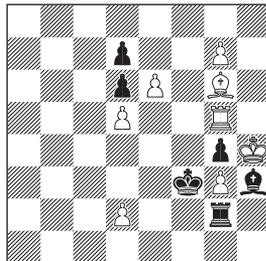
Sugawa: I went back to the last a1 and smiled wryly.

Sunouchi: Return moves are fewer because of the guard by her.

Crisan: My apologies to the author – the

original was published under a different name. Looks simple, yet someone has to do it!

**F1303** Mihaiu Cioflâncă  
C+ (Romania)



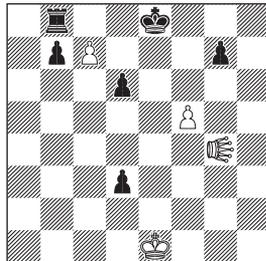
SH=11 (8+6)

1.Rf2 4.Bxg6 5.Ke4 6.Rf8 7.Bf5 9.Kf6  
10.Bxe6 11.Bf7 gxf8=Q=

Sunouchi: Upward migration of black is hard to imagine.

Crisan: The author of this composition was one of the best Romanian solvers 35 years ago. He knows very well how to tease the solvers – it took me quite some time to grasp the solution!

**F1304** Sébastien Luce  
C+ (France)



2→SH#2 (4+6)

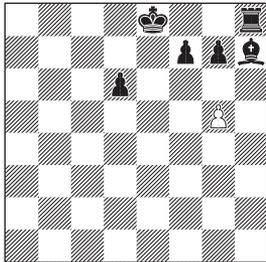
NonStop Equihopper g4  
a) Circe b) Vertical Mirror Circe

a) 1.cxb8=NE[Rh8] 2.NE f4 & 1.0-0 2.g5  
fxg6 ep.[g7]#

b) 1.cxb8=B[Ra8] 2.Bxd6[e7] &1.0-0-0  
2.e5 fxe6 ep.[d7]#

Author: Double Valladao with change of condition. First realization of the theme  
Editor: Nobody could solve this.  
Crisan: An impressive Meredith which should find a well deserved place in an anthology! The white series preceding the black series makes this idea possible.

**F1305** Sébastien Luce  
C+ (France)



2->ser==5 2 sols (1+6)  
Black Monochromatic

1.0-0 2.f5 & 1.gxf6 e.p. 2.fxcg7 3.gxf8=S  
4.Sxh7 5.Sg5=  
1.Bf5 2.Rh6 & 1.gxh6 2.hxcg7 3.g8=B  
4.Bh7 5.Bxf5=

Author: A rare case with a "hybrid stipulation" in two solutions with serial play.

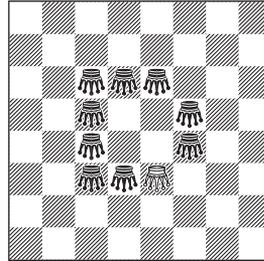
In the first solution, Valladao with promotion to Knight, promotion to Bishop in the second.

Sunouchi: Strange conditions are useful for Valladao task.

Crisan: The fairy condition facilitates stalemating the black King in an amazing economic position. I am astonished how Sébastien can juggle with the fairy

elements so easily.

Sébastien Luce  
**F1306** (France)  
C+ D as Degradation



ser==21 (1+9)  
AntiCirce, Relegation  
Grasshopper 1+9

1.Gxc3[>Gc8] 2.Gxf5[>Gf8]  
3.Gxc5[>Gc8] 4.Gf5 5.Gc2=P  
6.cxd3[>d2] 7.d3 8.dxc4[>c2] 9.c4  
10.c5 11.cxd6[>d2] 12.d4 13.d5  
14.dxe6[>e2] 15.e3 16.exf4[>f2] 17.f4  
18.f5 19.f6 20.f7 21.f8=G==

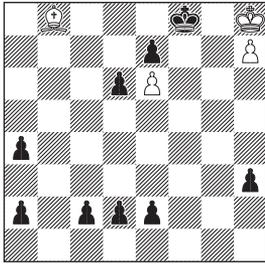
Author: After five moves by white Grasshopper, with a return to the second rank, it becomes Pawn. Only on the last move it is promoted to Grasshopper again with a complete paralysis of the position.

Sunouchi: The white man repeats sweeping, never to jump.

Crisan: A symbolic problem (Dégradation is the French term for Relegation) realized with French humor! Just wondering if 21 has also a symbolic connotation.

Sébastien Luce

**F1307** (France)  
C+ ded. to Kekely & Crisan



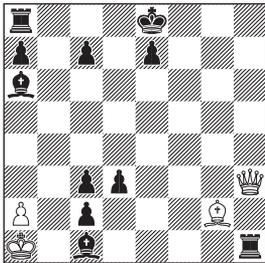
ser==45 (4+9)

3.Bb2=P 5.bxa4 9.a8=B 11.Bxa2=P  
16.a8=B 18.Bxc2=P 23.c8=B  
25.Bxe2=P 28.exd6 30.d8=B  
32.Bxd2=P 37.d8=S 40.Sxh3 41.Sf2=P  
45.f7==

Sunouchi: It takes time to capture black ambulatory pawns. Relegation with the assumption.

Crisan: 5 relegated promotions – who can surpass the record? Thanks for the dedication!

**F1308** Jean François Carf  
C+ (France)



PSS#7 (4+11)

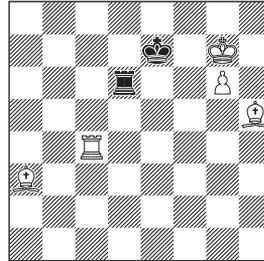
1.Qf5 2.Bc6+ Kd8 3.Bb5 4.Qxd3+ Kc8  
5.Bxa6+ Kb8 6.Qxc2 7.Qb1+ Bb2#

Sunouchi: Reasonable moves and an

impressive pin-mate.

Crisan: The solution flows naturally.

**F1309** Jean Carf  
C+ (France)



PSS#8 (5+2)

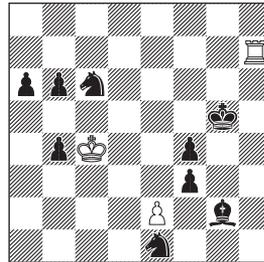
1.Kh8 3.g8=Q 4.Qe8+ Kf6 5.Rf4+ Kg5  
6.Qe5+ Kh6 7.Rf6+ Rxf6 8.Bf8+ Rxf8#

Author: Miniature. Model mate.

Sunouchi: Carefully invite him and finish with sacrifices.

Crisan: After a gentle introduction, the 4 consecutive checks conclude the series.

**F1310** Pascale Piet  
C+ (France)



PSS#9 (3+9)

5.e8=Q 6.Qh5+ Kf6 7.Rf7+ Ke6 8.Qxf3  
9.Qd5+ Bxd5#

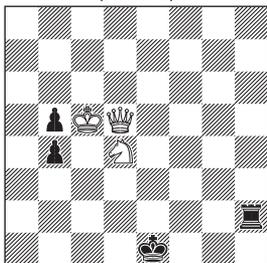
Author: Meredith. Excelsior. Clearing of the line. Model mate.

Sunouchi: The promoted lady goes

around to meet him again.

Crisan: An enjoyable Meredith which might suit any tastes.

**F1311** Jean François Carf  
C+ (France)



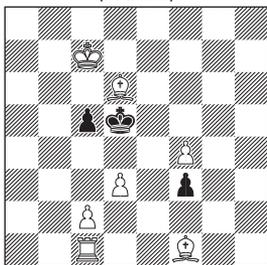
PSS#10 (3+4)

1.Qg2 6.Kb3 7.Sc2+ Kd1 8.Qf2 9.Se3+  
Kc1 10.Qb2+ Rxb2#

Sunouchi: The knight delays, and the queen gradually closes in.

Crisan: A superb miniature ending with a nice mate.

**F1312** Pascale Piet  
C+ (France)



PSS#10 (7+3)

1.Kd7 2.c4+ Kd4 8.Ke1 9.Be5+ Ke3  
10.Rd1 f2#

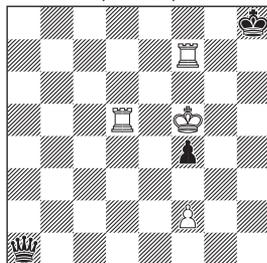
Author: Meredith, zugzwang, model epaulette mate.

Sunouchi: Both kings proceed toward

zugzwang as scheduled.

Crisan: Rather unexpected zugzwang mate after only two White checks.

**F1313** Jean Carf  
C+ (France)



PSS#11 (4+3)

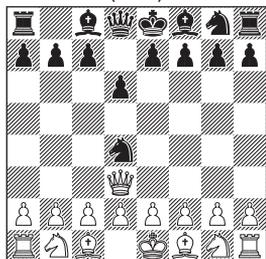
1.Ke6 2.Rxf4 3.Rfd4 8.f8=Q+ Kh7  
9.Rd7+ Kg6 10.R4d5 11.Qf6+ Qxf6#

Sunouchi: The midair mate-diagram is unpredictable in tactics.

Crisan: Another good demonstration of parry-series specificity.

The best fairy solver this issue is Seiichiro, followed by Hajime – both with excellent performances. Hironori and Takuji displayed very good solving skills. As I use to say: after learning how to solve chess compositions, when turning to fairies you must forget almost everything you have learnt. Many thanks to all for the brilliant comments which are very much appreciated by the composers!

**R336** Kevin Begley  
C+ (USA)



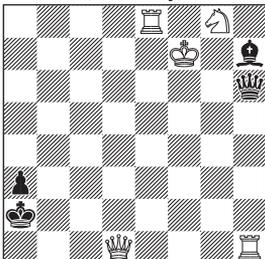
Circe ContraParrain (16+16)  
a) Proof Game 3.0 (1 solution)  
b) Proof Game in exactly 4.0 (2 solutions)

**R337** Kevin Begley  
C+ (USA)



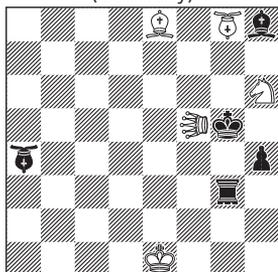
Proof Game 10.0 (13+13)  
Einstein Chess

**R338** Andreas Thoma  
(Germany)



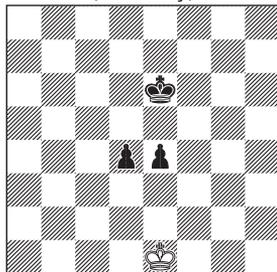
-3 & S#1 (5+4)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

**R339** Andreas Thoma  
(Germany)



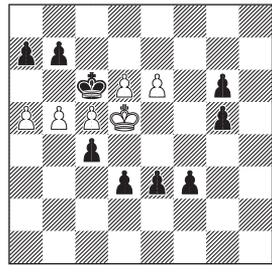
-2 & S#1 (5+5)  
Klan Retractor  
AntiCirce Calvet  
Locust f5  
BishopHopper g8, a4  
RookHopper g3

**R340** Andreas Thoma  
(Germany)



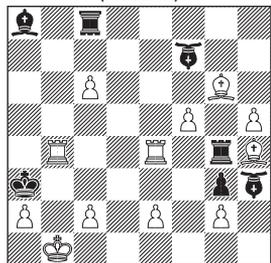
-10 & S#1 (1+3)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

**R341** Bojan Bašić  
(Serbia)



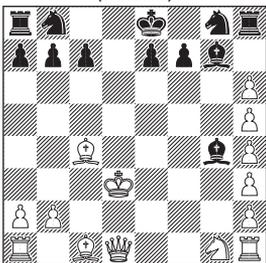
-9 & S#1 (6+9)  
Proca Retractor  
SAT  
Haunted Chess

**R342** Klaus Wenda  
(Austria)



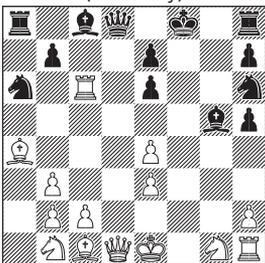
-10 & S#1 (12+7)  
Proca Retractor  
AntiCirce Calvet  
RookHopper c8  
BishopHopper f7,h3

**R343** Henryk Grudziński  
(Poland)



Proof Game 13.0 (14+12)  
Circe Equipollents

**R344** Silvio Baier  
C+ (Germany)



Proof Game 24.0 (14+13)

# Retro

## Retro Editor

Naoki Matsuzaki (松崎直樹)

## Judge 2021-2022

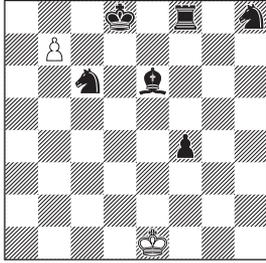
Vlaicu Crisan (Romania)

☆今回は PGが4作と Retractor が5作です。R336の a, bは同じ図で手数のみ異なります。取られた駒は、直後の手の逆ベクトルを加えたマスに再生します。bはテンポを合わせるために黒駒を取って再生する必要があります。一解は意外な駒が動きます。R337は、K以外の駒は駒取りの有無により P-S-B-R-Qの順に昇格・降格するルールです。ダブルポーンの方は降格により生じたもので、その他にも変化した黒駒が複数残っています。図で初形位置にあるPは動いていません。駒が取られたときは全て元と同じ種類で、うち4つは動きませんでした。R338は再生位置の黒駒を逆算し、黒が駒取りを戻すしかない形にしてください。最後はg8を空けてチェックし黒の応手で詰む形にしますが、そのためには跳び越す駒が必要です。なお、フェアリー駒の再生位置は取られた駒があったマスと同じ筋の最奥です。着地したマスではありません。R339はe1が塞がってe8が空けば、wQでチェックしてbKに取らせる手が生じます。他の駒に取られたら駄目なので、再生位置にある白駒2つを使って上手く黒駒を逆算してください。R340はチェックした黒駒の再生位置にbKを戻させて端に寄せ、最後にwKでチェックしてbKが逃げると詰む形にします。最初はwKが何度も駒取りを逆算できるように、e1に黒駒が利くようにしてください。R341は、Kが合法的に動ける場合に限りチェックとみなすルールと、取られた駒が「幽霊」となり、取った駒が動けば再生されるというルールの組み

合わせです。アンパッサンで取られたPの幽霊の再生位置は4段目で、取ったPが動くまでの間、取られたPの再生位置に他の駒が留まる手は禁手となります(通過は可)。途中、一見Kが動ける状態を放置しているが実際はPの幽霊が残っており合法となるような局面が登場します。R342はe6, b6のアンパッサンを戻した後bBでチェックするとbKが逃げてチェックになりますが、白の応手があり詰みません。a8が空いてwKがa1にあれば、代わりにRHを逆算してKとのダブルチェックで詰むので、同形三復ルールを活用してその形に移行します。駒の配置が同じであっても、アンパッサンの権利が異なれば同一局面とならない点に注意が必要です。まずはbRが動けないようにして黒が逆算できる手を限定してください。R343はwPを左から取って右に再生することを繰り返します。残っていない駒の再生位置は、他の駒があったか盤外だったこととなります。序盤はbQが動けるようにbPd7を処理します。R344はPの位置から分かる通り、白黒のPが2つずつ成っています。成駒だけが取られたとすると手数が合わないの、盤上に成駒が残っているはずですが、どの駒でしょうか。白の成駒がチェックしないことと、bPc7の処理方法を考えれば絞込めれると思います。最も解きやすいのはR336aで次がR344、他は難しいと思います。挑戦してみてください。

## Issue 98 (R329-330)

R329 Andreas Thoma  
(Germany)

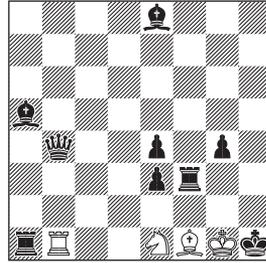


-4 & #1 (2+6)  
Klan Retractor  
AntiCirce

- 1. Ke1xPf2(Ke1) f3-f2+
- 2. Ke1xPf2(Ke1) Sb8-c6+
- 3. Kg3xPh4(Ke1) Se8xQg7(Sb8)+
- 4. Kh2-g3 & 1. Qe7#

Klan タイプなので黒が駒取りを戻す手順があるはずで、事前に黒駒が自身の再生位置に戻るのだと予想がつく。白が駒取りを複数回戻すには、まず K が e1 から駒を取った手を戻す必要がある。e1 の周囲 5 マスのどこかにある黒駒が e1 に利いた局面にするのだが、再生位置のうち空いているのは b8 だけなので、候補は P しかない。黒は手数が増えるように P を退くのだが、再度 P を戻すと b8 に S を戻すしかなくなる。2 段目の bP が駒を取ると成駒として再生されるので、全ての成駒の再生位置が塞がっていないと非合法局面となる点に注意。次に 2 つの bP にダブルチェックされた局面に戻し、黒に再生位置の g7 を空けた手を戻させる。マス目の色から白マスの bS が g7 の白駒を取ったことになる。チェック放置を避けるため e8 に戻るしかなく、最後は wQ が動けるようにして詰み。

R330 Andreas Thoma  
(Germany)



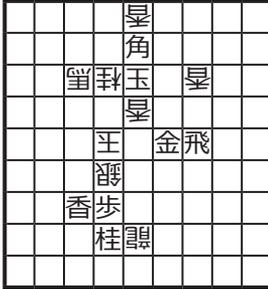
-5 & #1 (4+9)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan  
No Forward Defense

- 1. Bf1xSh3(Bf1) Sg5-h3
- 2. Bf1xSh3(Bf1) Sf2-h3
- 3. Bf1xSh3(Bf1) Sf4-h3
- 4. Bf1xSh3(Bf1) Qb8-b4
- 5. Rb4-b1 & 1. Sxf3(Sb1)#

e8 が既に塞がっており、e1 が空けば wK でチェックできる形になっている。bBa5 と bQb4 が e1 に利かないようにすれば詰む。自身の再生位置にある白駒は wBf1 のみなので、これで繰り返し駒取りを戻す。bS を取った局面に逆算し続けると、黒は再生位置の b8 に bQ を戻すしかなくなる。wR で bB の利きを遮ると bRa1 が横に利くので、wS で駒を取って b1 に戻って詰み。なお、黒の手は三手目まで順不同となる。Sunouchi: Relocation on the b-file is essential and eccentric.

**U321** FUJIWARA Toshimasa

藤原俊雅



▲ 銀

詰将棋 (バリエーションあり)

**U322** HASHIMOTO Satoshi

橋本 哲



▲ 歩8 ▼なし

ブルーゲーム 44手

## Shogi

### Shogi Editor

AIBA Takehiro (会場健大)

Judge 2021-2023

TACHIOKA Hajime (太刀岡甫)

U97 に高坂研氏から解答いただいていたのに結果稿作成時忘れてしまいました。

短評を掲載します。大変失礼いたしました。

U311

飛/銀のレントラフ。できれば持駒制限なしで実現させたいところ。

U312

角が売り切れることで、43 に銀が浮かび上がる。

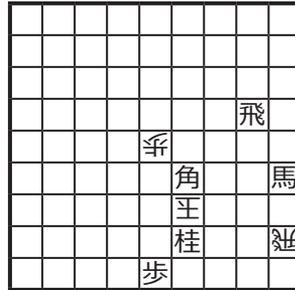
U313 (98 角成までの余詰解)

飛も角も売り切れて、98 に利きが及ぶ透明駒がなくなってしまう。分かってみれば、ば自の典型的な手順構成ですね。

### Issue 98 (U315-317)

**U315** FUJIWARA Toshimasa

藤原俊雅



▲ 金

詰将棋 2解

27 飛、48 玉、49 金、同玉、  
29 飛、48 玉、49 飛まで7手  
25 馬、38 玉、29 金、同玉、  
47 馬、39 玉、29 飛まで7手

作者：初手でバッテリーを作り5手目に開く2解。手のダブリが殆ど無い構成は意図したもの。最終手に対比が無いのは欠点だが、どうしようもなかった。☆一方の解では馬の利きを止めながら飛車で王手し、いま利きを止めた49に金を捨てて開く。もう一方では飛車の利きを止めながら馬で王手し、29に金を捨てて開く。最後はどちらも飛車の王手までで捕まるのは対比になっておらず作者も自認する点だが、しかしこれをツインでもない純粋な2解で表現したのはお見事。片方の解でしか働かないという

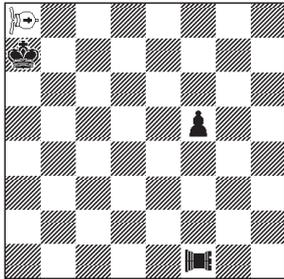




René J. Millour  
(France)

**F1014**

Ded. to Wolfgang WILL



H=16 (1+3)

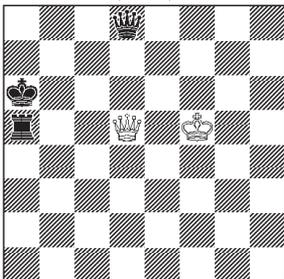
Pao f1, Vao a8  
11+13 Invisibles

- 1.PAf4 VAc6 2.PAxf7 VAe4 3.f5(x)g4 VAb7 4.g4(x)h3 VAF3 5.h3(x)g2 VAd1 6.g2(x)h1=PA VAh5 7.PAhxh7 VAXe8 8.PAhxd7 VAXb5 9.PAd4 VAe2 10.PAc4 VAXc4 11.Kb6 VAe6 12.Kc5! VAb3 13.Kb4 VAXf7 14.Ka3 VAXa2 15.Kb2 VAXg8 16.Ka1 Kc2=

The author has a sibyllic solution, which finally reveals the wK position. Not such an appealing problem. (BTW, I love a lot the Alice problems of this sophisticated author)

**Honorable Mentions** (without order):

**F972** Kostas Prentos  
C+ (USA)



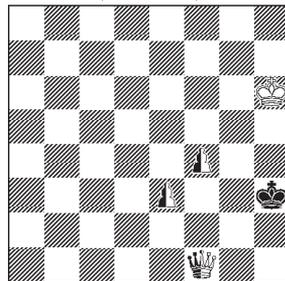
HS#2 (2+3)

b/c) Qd8→b2/b7  
Masand

- a) 1.Kg6! (1.Ke6?) Rb5 2.Qb7[b5=wR]+ Qb6[b5=bR][b7=bQ]#
- b) 1. Kg 5! ( 1 . Q c 5 ? ) R a 4 2 . Q c 6 [ a 4 = w R ] + + Q b 5 [ a 4 = b R ] [ c 6 = b Q ] #
- c) 1.Kg4! (1.Kf4?) Ra3 2.Qa5[a3=wR]+ Qb4[a3=bR][a5=bQ]#

I'm not at all disturbed by twins. The work is perfect with his tries at the first move.

**F986** Éric Huber  
C+ (Romania)



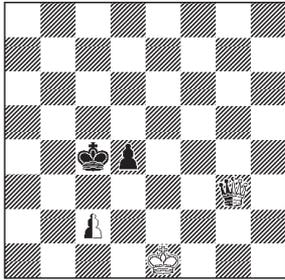
H#2 2 Sols (1+1+3)

4 Total Invisibles  
Neutrals

- 1.e3xf2 Kh6-g5 2.f2xg1=nQ nQg1-g2#  
Invisibles on f2 g1 g2 and g3/g4;  
Invisible on g3/g4 cannot be a black R/Q because of wKg5
- 1.f4xg3 nQf1-f4 2.g3xh2 TI~xh2#  
Invisibles on g3 h2 g2 and g5; Invisible g2 is a white Rook

Four TI are ingeniously discovered. I liked the similar walk of the pair of Pawns.

Éric Huber & Vlaicu Crisan  
**F988C+** (Romania)  
 Invisible Rooks & Castles

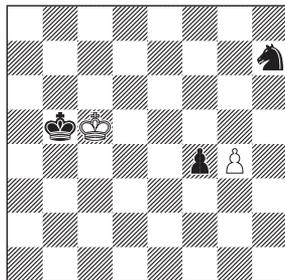


H#2 2 Sols (1+2+2)  
 3 Total Invisibles  
 Neutrals

1.nQd6 0-0 2.c2\*b1=nQ Rf1-c1#  
 invisibles f2, wRh1, b1  
 1.nQf4 TI~\*c2 2.Kc4-d3 0-0-0#  
 invisibles wRf2, e3, wRa1

A "tour de force," two different castlings in two phases.

**F1050** Éric Huber  
 C+ (Romania)



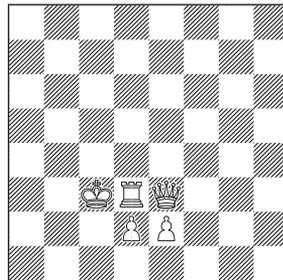
SH#8 2 Sols (2+3)  
 Point Reflection

1.Sf6 2.S:g4 3.Kc7 4.f3 5.f2 6.f1=Q  
 7.Qf3 8.Sf2 Kc6#  
 1.Sg5 2.Kb4 3.Ka6 4.e3 5.e2 6.e1=Q  
 7.Qg3 8.Sh3+ Kb6#

Paradoxical checkmates. Pawn f4 can move only if the black King moves away from his rival.

**Prizes**

**Prize**  
**F1038** Michel Caillaud  
 (France)



H#18 (5+0)

17 Total Invisibles  
 (Dedicated to Junichi Inoue,  
 Ken Kousaka & Shinichi Soma)

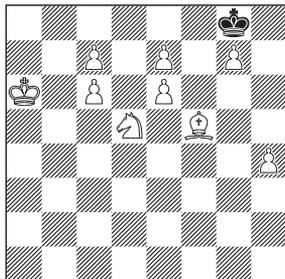
1.TI~ Rb4 2.TI~ Tb3 3.TI~ d4 4.TI~  
 d:e5 5.TI~ e:f6 6.TI~ f:g7 7.TI~  
 g:h8=B 8.TI~ Ba1! 9.TI~ Qc3 10.TI~  
 e4 11.TI~ e:d5 12.TI~ d:c6 13.TI~ c:b7  
 14.TI~ b:a8=R 15.TI~ Ra2! 16.TI~  
 Ka3! 17.TI~ Rab2! 18.TI:a1! Rb1#  
 (TIa1=black King, the only possibility!)

It is amazing that the existence of 17 invisibles lead to such a surprising solution, with two minor promotions. I liked that the moves 16 and 17 could not be interchanged. Hope to be sound this time.

B) Problems with 6 or more units

**Commendations** (without order):

**F982** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



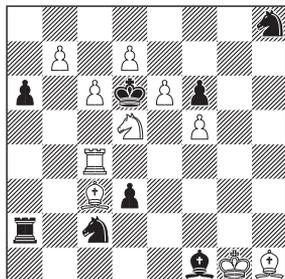
(\*) SH=11 (9+1)

(\*) 1...e8=S=

- 1.Kxg7 2.Kh6 3.Kh5 4.Kxh4 5.Kg5  
6.Kxf5 7.Kxe6 8.Kd6 9.Kxc6 10.Kd7  
11.Kc8 e8=B=

Nice to see two model mates by minor promotions. This kind of problems was the theme of a tourney in Super Problems.ru

**F1020C+** Petko Petkov  
In memoriam V. Nestorescu  
(Bulgaria)



#3 (10+8)

Anda

Logical thematic tries:

1.d8=nR+? nRg8=bR+! (If 1...nR~

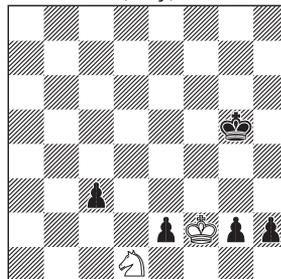
2.nRrD8=wR#); 1.b8=nB+?  
1...nBa7=bB+!

Paradoxical tries (they belong to the main content) in which white closes white & black lines with idea to prevent black counter-checks:

- 1.Bg2? ( thr.2.d8=nR+) but 1...Sf7!;1.  
Bd4? ( thr.2. b8=nB+) but 1...Rb2!;  
1.e7! ( thr. 2.e8=nS+! nS~  
3.nSe8=wS#!);  
1...Bg2! 2.d8=nR+! nRd8~  
3.nRd8=wR#! (but not 2.d8=nQ+?  
nQb6+!);  
1...Sd4 2.b8=nB+! nBa7 2.nBb8=wB#!  
(but not 2.b8=nQ+? nQg8=bQ+!).

A humorous situation: White cannot promote the Pawns into Queen.

**F1036** Vito Rallo  
C+ (Italy)



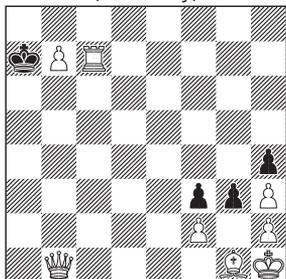
H#3.5 2 Sols (2+5)

Parrain Circe

- 1...Sc3 2.Kh4 S:e2 3.Kh3[+bPe1=B]+  
Kf3 4.Bh4 Sf4#  
1...K:g2 2.Kg4[+bPg1=R]+ K:h2  
3.Rg3[+bPh4] Kh1 4.Kh3 Sf2#

[without bPc3] Minor promotions.

**F1077** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



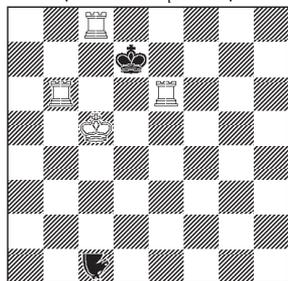
HS#4 2 Sols (8+4)  
AntiAndernach

1. b8 = bR+ Ka8 2. Ra7 = bR gxf2  
3. Qb7 = bQ f1 = wQ 4. Qxf3 Qxf3#  
1. Rc8 = bR gxf2 2. bxc8 = B Ka8 3. Bg4 = bB  
f1 = wQ 4. Qxf3+ Bxf3#

Superb zugzwang in the first solution  
(shady by the second).

**Honorable Mentions** (without order):

**F1006** Václav Kotěšovec  
C+ (Czech Republic)



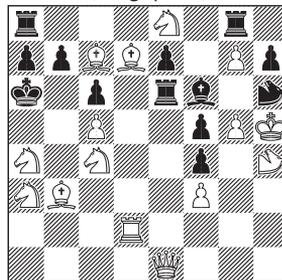
HS#8 2 Sols (4+2)  
Nightrider c1

1. Rb1 Nf7 2. Kb4 Nd6 3. Rd8+ Kc6 4. Kb3  
Kb5 5. Ka2+ Ka4 6. Ka1 Nf5 7. Rd4+ Ka3  
8. Re3+ Nxe3#  
1. Re1 Ne2 2. Rbb8 Ke6 3. Kb6 Kd5  
4. Rd8+ Kc4 5. Kb7 Kb5 6. Ka8+ Ka6

7. Rd5 Nf4 8. Re6+ Nxe6#

Two symmetrical mates obtained with  
very well accuracy.

**F1021** James Quah  
C+ (Singapore)

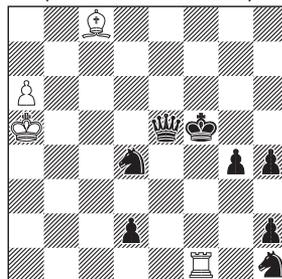


#3 (15+13)  
Quintessence h4, h6

1. Bc8! [2. QNd7+ Rb8 3. QN:b8#]  
1... Re5 2. Re2 [3. Qa5#] R:c5 3. S:c5#  
1... Be5 2. Rd4 [3. Qa5#] B:c7 3. S:c7#  
1... QNe5 2. Rd3 [3. Qa5#] QN:c4  
3. B:c4#  
1... Rd6 2. c:d6 [3. Sc5/QNd7#]

Quiet moves by wRd2, but the price  
is a too loaded position. Good use of  
Quintessence.

**F1030** Cornel Pacurar  
C+ (Canada & Romania)

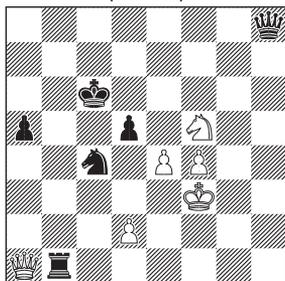


(\*) H#2.5 2 Sols (4+8)  
Point Reflection

(\*) 2.Qd3 Rh3+ 3.Ke5 Pe6#  
 1...Rc4+ 2.Kf1 Rc1+ 3.Kh3 Rf1#  
 1...Bc4+ 2.Kc8 Be6+ 3.Ka8 Bc8#

The spectacular checkmate is the one obtained in set play. The mating Pawn is actually Queen and the bK is Knight.

**F1076** Borislav Gadjanski  
 C+ (Serbia)



HS#4 2 Sols (6+6)

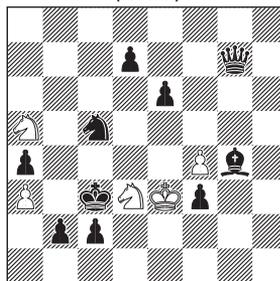
1.Qxa5(A) Rb8 2.e:d5+(B) Kb7(c)  
 3.Ke4(D) Qc3(e) 4.Sd6+(F) Sxd6#(g)  
 1.Kg2(C) dxe4(b) 2.Qf6+(E) Kd5(d)  
 3.d4 Qh4(a) 4.Se3+(G) Sxe3#(f)

Original hs#. In the second solution, almost all units make "point reflected" moves. (Tested with Gustav)

**Special Prizes** (for problems without fairy elements)

**1st Special Prize**

Menachem Witztum  
**F1047** Emanuel Navon  
 C+ (Israel)



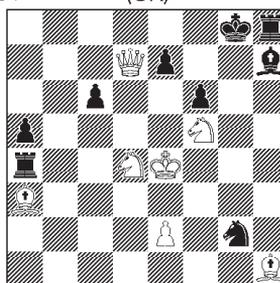
HS#2.5 3 Sols (5+10)

1...Bh5 2.Sc1 Qg3 3.Se2+ f:e2#  
 1...d5 2.S:b2 Qa7 3.S:a4+ S:a4#  
 1...Qe7 2.Sb4 Sd3 3.Sd5+ e:d5#

In three phases, Black make three different batteries with his Queen. Meanwhile, White moves the same Knight. One of the best hs# I ever seen.

**2nd Special Prize**

**F1004** Christopher Jones  
 C+ (UK)



HS#3.5 (7+9)

b) bSg2→e1

a) 1...e5 2.e3 exd4 3.Qxd4 Se1 4.Qc4+ Rxc4#  
 b) 1...e6 2.Bf3 exf5 3.Qxf5 Sg2 4.Qg6+

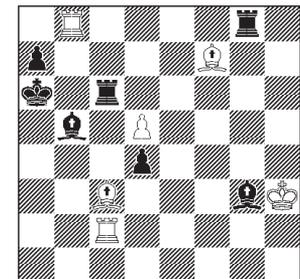
Bxg6#

Very appealing solutions, perfectly similar. Impeccable construction.

## Prizes

### 1st Prize

**F1005C+** Petko Petkov  
(Bulgaria)  
In memoriam to V. Nestorescu



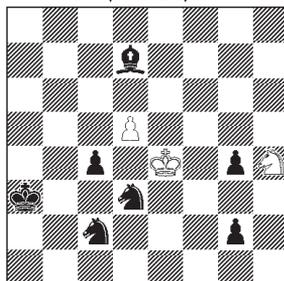
HS#4 b) -bBg3 (6+7)  
Anda

- a) 1.Rg2!! Bf1! 2.d6 Bxg2=nB+!!  
3.nBf1=wB+! Rc4 4.B7xc4=nB+!  
nBxf1=bB#
- b) 1.Bh5!! Rh6! 2.Bb4 Rxh5=nR+!!  
3.nRh6=wR+! Bc6 4.Rcxc6=nR+!  
nRxh6=bR#

Paradoxical change of colors in this ultra-modernist problem in two acts. With Petko, the imaginagion flies far away.

### 2nd Prize

**F993** Pierre Tritten  
C+ (France)



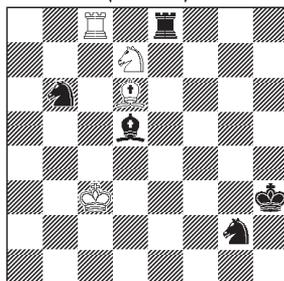
H#3 b) wBh4 (3+7)  
KoBul Kings AntiCirce

- a) 1.Bb5 Kf5 2.g1=S Kf6 3.Sf3  
Sxf3[a3=rS][wSf3 → b1]#
- b) 1.Sb4 Ke5 2.g1=B Kd6 3.Bf2  
Bxf2[a3=rB][wBf2 → c1] #

The captures rSxb1(rSg8) and rBxc1(rBf8) are illegal self-checks due to both fairy conditions. A spectacular idea which will not be forgotten soon.

### 3rd Prize

**F961** Pierre Tritten  
C+ (France)



H#2 2 Sols (4+5)  
Madrasi AntiCirce

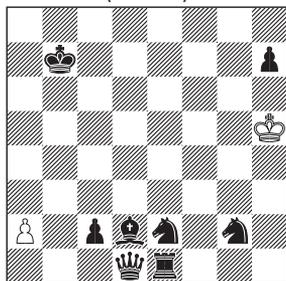
- 1.Ba8 Rc4 2.Rg8 Sxb6(>Sg1)#  
1.Bg8 Sf6 2.Sa8 Rxe8(>Rh1)#

In first solution, moving bB to a8, the white Rook is released because it is no more observed by bRe8. Then Rg8 “unpin” Sd7 which give specific checkmate. Analogous reasoning in the second solution.

A remarkable work, which surprisingly combines two fairy conditions.

#### 4th Prize

**F1025** Michel Caillaud  
C+ (France)



S#20 (2+8)

Black plays only to double check

1.a3,a4? Sg3#?? but 1...Sef4+! il faut éliminer l' échec double indésirable  
1.Kg4! 2.Kf5 3.Ke5 4.Kd6? Bf4+? but 4...Bb4+! il faut éliminer l' échec double indésirable 4.Kd5! 5.Kc4 6.Kb3 c1=S+ 7.Kb2 8.Ka1 Sb3+ 9.Kb2 10.Ka3 11.Ka4 Sc5+ 12.Kb5 13.Kc4 14.Kd5 15.Kd6 Bf4+ (Bb4+?) 16.Ke7 17.Kf6 18.Kf5 19.Kg4 20.Kh5 Sg3# (Sef4+??)

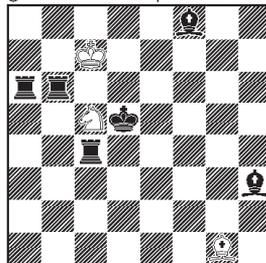
I liked very much the wK journey which first bring an unexpected promoted S on c5, then a Bishop on f4 to avoid alternative double check. A bonus is his originality.

I want to congratulate all the participants.

P. Raican  
Tulcea, Oct.2022

My gift for the Japanese solvers:

Paul Raican  
Original ded. to Japanese solvers



ser-S=14 (3+6)

White Sentinels = 4

1.Bd4 2.Bc3 [+wPd4] 3.Ba5 [+wPc3]  
4.Bxb6 [+wPa5] 5.Ba7 [+wPb6] 6.b7  
7.b8=R 8.Rb6 9.Kb7 [+wPc7] 10.c8=S  
11.Kc7 [+wPb7] 12.b8=B  
13.Rb7 [+wPb6] 14.Se7+ Bxe7=

[From the Editor: Thank you, Paul, for your illuminating award. Claims should be sent to the editor within usual 3 months.]

# 出口信男の世界 (7)

## 泰永三二郎

今回は駒取りのときに通常と異なる現象が起こるタイプのフェアリーを3種類取り上げる。

《いれかわりルールの詰将棋》

出口信男氏はカピタン44号(1990-5)で「ふりかわり将棋の変形」と題して3つの新ルールを提案している。

1. せめかわり将棋：駒を取った時、取りに行った自駒Xは捕獲した敵駒Yと同種の駒に変身する。Yの方は変身しない。
2. うけかわり将棋：駒を取った時、捕獲された敵駒Yは取りに行った自駒Xと同種の駒に変身する。Xの方は変身しない。
3. いれかわり将棋：駒を取った時、取りに行った自駒Xと捕獲した敵駒Yの駒種が入れ替る。

\* 変身は同時動作。

\* 生駒と成駒は別種として扱う。成駒は駒台に乗った時点で生駒に戻る。王将も変身の対象になるが、王駒(ロイヤル)であることは変化しない。

\* これらの将棋では、王将と同じ性能を持ったロイヤルではない駒が登場することがある。そのロイヤルではない王が持駒のとき、他の駒同様打つことができる。

\* 同じ筋に同じ向きの歩が複数生じるような指手は、二歩で禁手とする。

\* 行きどころのない駒が生じるような指手は禁手。

この幻のルールがなんと最近 Propara99号で再登場した。元々作品例が無かったせめかわり詰の新作が発表されたのだ。32年ぶりの登場は素晴らしいことと思う。

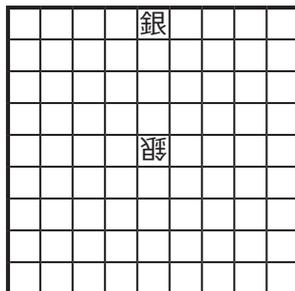
これらのルールの特徴だが、性能が変化するのは駒ごとのため駒の総数は変化しない。せめかわりルールとうけかわりルールの場合は、駒種ごとの枚数が変化し標準駒数と異なる場合が多くなる。そのため通常の駒一式では遊び難い。またどの駒がロイヤル駒なのかひと目で分かるような工夫も必要。多面体(何面体?)の駒を

作るのも非現実的なので、PC利用が必須かもしれない。ただそんなアプリは存在しない、...

例題1 いれかわり協力白玉詰、4手。

2枚の銀はともにロイヤル駒。55銀にあたりをかけながら、51銀王を詰める。

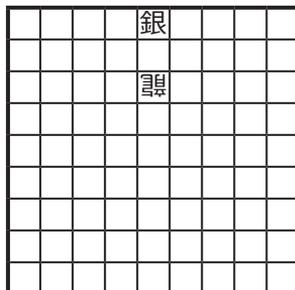
Y-201a(カピタン44号、1990-5)



▲ 飛

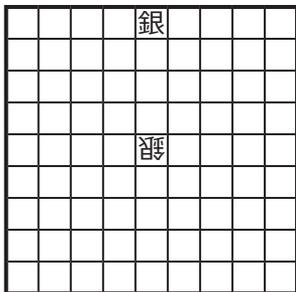
52飛、44銀、53飛成、同銀→龍迄4手詰。

手順表記が難しいが、ここでは発表時の方式で変身を→で表すことにする。53飛成を同銀と取ると銀王から龍王に変身するので、51の銀王に王手がかかる。その王手を外す手はないので、これで詰み。ただ初手は56飛などもあり打場所は非限定。詰上がりは次図。



▲ なし

1番 いれかわり協力白玉詰、4手。Y-201b、  
51銀、55銀がロイヤル駒  
(カピタン44号、1990-5)

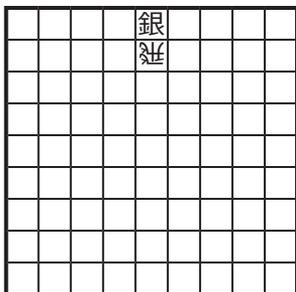


▲飛飛

56飛、同銀→飛、52飛、同飛迄4手詰。

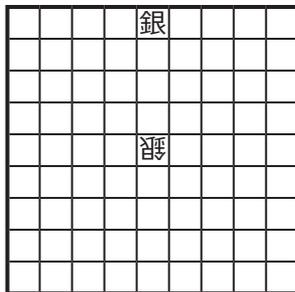
例題との差異がポイント。例題と同じ手順では最後52飛の合駒が可能になり、まだ詰んでいない。そのため初手56飛と捨てる。56は可成地点ではないため、例題と異なり生飛車で詰める必要があり、次の52飛が限定打となる仕掛け。シンプルだがよく出来ている。本作がこのシリーズの元か？

(詰上り)



▲なし

2番 いれかわり協力白玉詰、4手。Y-201c  
51銀、55銀がロイヤル駒  
(カピタン44号、1990-5)

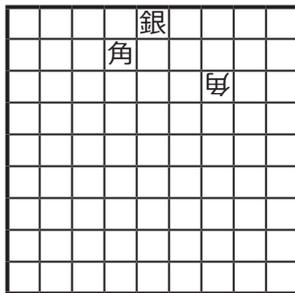


▲角角

44角、同銀→角、62角、33角迄4手詰

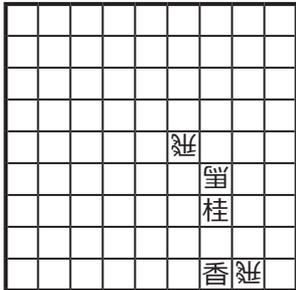
初めてこの手順を見た時は、手の意味がスーッと入っては来なかったのを記憶している。4手で詰めるロジックが明確。

(詰上り)



▲なし

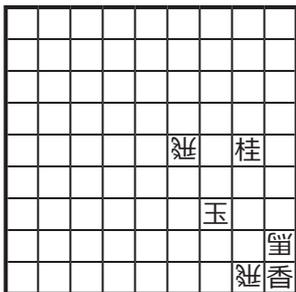
3番 いれかわり協力詰、5手。Y-203、  
36馬がロイヤル駒（協力詰）



▲ なし

25桂、37玉合、同香→玉、18馬、  
19香迄5手詰

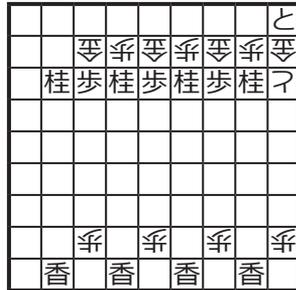
(詰上り)



▲ なし

本題は単玉作で玉合の珍手筋が主題。盤面に後手玉が見えないので後手の駒台に玉（ロイヤルでない玉の性能の駒）が乗っていると分かる。最終手に対しては同飛でも同馬王でも取ると9段目の生香に変身するため、行きどころのない駒となり禁手。この詰め上がりのため一枚で36,26,27,28全部に利かせる2手目の合駒が必要で、その条件を満たせるのが37玉合だけなのだ。付け加えて、初手の25への跳ね違いは、45飛車を取ると最後逃路になるため5手では詰まない。

4番 いれかわり詰、119手。Y-204、  
13とがロイヤル駒（詰将棋=協力詰ではない）



▲ 歩6

12と→金、同と→金、11桂成、13金、  
12成桂、14金、13成桂、15金、  
14成桂、16金、15成桂、17金、  
16成桂、同金→成桂、17歩、15成桂、  
16歩、14成桂、15歩、13成桂、  
14歩、12成桂、13歩生、11成桂、  
12歩生、21成桂、32歩→金、同成桂→金、  
31桂成、33金、32成桂、34金、  
33成桂、35金、34成桂、36金、  
35成桂、37金、36成桂、同金→成桂、  
37歩、35成桂、36歩、34成桂、  
35歩、33成桂、34歩、32成桂、  
33歩生、31成桂、32歩生、41成桂、  
52歩→金、同成桂→金、51桂成、53金、  
52成桂、54金、53成桂、55金、  
54成桂、56金、55成桂、57金、  
56成桂、同金→成桂、57歩、55成桂、  
56歩、54成桂、55歩、53成桂、  
54歩、52成桂、53歩生、51成桂、  
52歩生、61成桂、72歩→金、同成桂→金、  
71桂成、73金、72成桂、74金、  
73成桂、75金、74成桂、76金、  
75成桂、77金、76成桂、同金→成桂、  
77歩、75成桂、76歩、74成桂、  
75歩、73成桂、74歩、72成桂、  
73歩生、71成桂、72歩生、61成桂、  
62香→歩、同成桂→歩、63歩、同歩、  
64歩、同歩、65歩、同歩、  
66歩、同歩、67歩、同歩、  
68歩、同歩、69香迄119手詰



73 銀、へ 63 玉、64 銀成、62 玉、  
63 全、同銀、63 銀、53 玉、  
54 銀成、42 玉、43 全、31 玉、  
32 全、同金、32 金迄 39 手詰。

変化：イで 14 玉は 25 金、13 玉、14 金、同金、14 金、12 玉、13 金、同金、13 金、11 玉、12 金、同金、12 金迄。変化はあるが同じ筋で詰む。

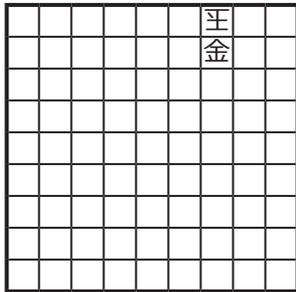
口で 32 玉 (42 玉) は 43 金、31 玉、42 金迄。  
八で 42 玉は 43 金、31 玉、42 金迄。

二で同銀は 33 銀、43 玉 (同金は 33 金以下、23 玉は 24 銀成、32 玉、33 全、同金、33 金以下) 44 銀成、52 玉、53 全、同銀、53 銀、63 玉、64 銀成、へ 72 玉、73 全、同銀、73 銀、63 玉、64 銀成、62 玉、63 全、同銀、63 銀、53 玉、54 銀成、42 玉、43 全、31 玉、42 全迄 35 手。

ホで 62 玉は 63 全、同銀、63 銀、73 玉、74 銀成、72 玉、73 全、同銀、73 銀、83 玉、84 銀成、72 玉、73 全以下 2 手早く詰む。

へで 83 玉は 84 銀成、82 玉、83 全、同銀、83 銀、73 玉、74 銀成、62 玉、63 全以下。

(詰上り)



### ▲ なし

金銀図式でどれだけ手数が増やせるか。二で同金のところ同銀とすると、21 金と 22 金が壁で残るので早く詰む、など逃げ方が微妙だが完全に割り切れているのは驚き。

6 番 オール交換駒、121 手。Y-213  
(カピタン 46 号、1990-7)



### ▲ なし

84 飛、同と、84 歩、73 玉、  
83 歩成、同歩、74 歩、イ 83 玉、  
73 歩成、口同と、84 歩、73 玉、  
83 歩成、63 玉、73 と、同歩、  
64 歩、ハ 73 玉、63 歩成、二同と、  
74 歩、63 玉、73 歩成、53 玉、  
63 と、同歩、54 歩、63 玉、  
53 歩成、同と、64 歩、53 玉、  
63 歩成、43 玉、53 と、同歩、  
44 歩、53 玉、43 歩成、同と、  
54 歩、43 玉、53 歩成、33 玉、  
43 と、同歩、34 歩、43 玉、  
33 歩成、同と、44 歩、33 玉、  
43 歩成、23 玉、33 と、同歩、  
24 歩、33 玉、23 歩成、同と、  
34 歩、23 玉、33 歩成、13 玉、  
23 と (中間図、65 手経過)

変化：イで同とは、74 歩、63 玉 (83 玉は 73 歩成、同歩、84 歩、73 玉、83 歩成、63 玉、73 同歩で 71 香がすぐに消えて早い)、73 歩成で作意に戻り 6 手短い。

口で同歩は、84 歩、73 玉、83 歩成迄。

八で同とは、64 歩、73 玉 (63 玉は 63 歩成、同歩で 4 手短い) 63 歩成、同歩、74 歩、63 玉、73 歩成、53 玉、63 と迄

二で 83 玉は 73 と、同歩、84 歩、73 玉、83 歩成、63 玉、73 杏迄。

後手側としては、3 段目のと金は逃路を塞ぐ壁駒なので早く処理したい。途中から角で取る

手が可能になり、どこで取るのか取らないのか非常に悩ましい。

中間図

皇	イ	皇		イ	母		イ	皇
飛							帝	皇
							と	王
							イ	母
		桂	桂		桂	桂		

▲ なし

木同角、A24 角、へ同角、  
B24 角、同と、14 歩、23 玉、  
13 歩成、ト同香、24 香、33 玉、  
23 香成、43 玉、33 杏、53 玉、  
43 杏、63 玉、53 杏、73 玉、  
63 杏、83 玉、73 杏、同香、  
84 香、73 玉、83 香成、63 玉、  
73 杏、53 玉、63 杏、43 玉、  
53 杏、33 玉、43 杏、23 玉、  
33 杏、13 玉、23 杏、同歩、  
14 歩、23 玉、13 歩成、同香、  
24 香、33 玉、23 香成、43 玉、  
33 杏、53 玉、43 杏、63 玉、  
53 杏、73 玉、63 杏、83 玉、  
73 杏迄 121 手詰。

変化：木で同歩は、13 玉型で早く詰む。

トで 33 玉は、戻って来た時に先に 22 歩が消える関係で 11 香が消え残り早詰。

紛れ：A や B で 35 角などと離して打つと移動合されて困る。このルールでは駒取りをすると相手に駒が行ってしまうので、出来るだけ相手に駒取りさせるのが作戦となる。

角と香が盤面に配置されているのが、問題を複雑化させている。それらはいずれ先手の持駒になるので、どの順番で先手に角と香を渡すのかがややこしい問題。角が持駒になると簡単に方向転換出来るため、71 香または 22 歩が先

に消えている状態で角を手放すと早く詰むことになる。

(詰上り)

皇	イ			イ			イ	
飛								
	王	杏						
		桂	桂		桂	桂		

▲ なし

使用駒が 5 番と真逆で、手順はと金と歩のダブルはがし趣向の作。逃げ方がかなりややこしいが本作も完全に割り切れているようだ。結論から言うと 22 歩と 71 香が後手の生命線で、出来るだけ残すのが最善の延命策。駒が消える正しい順序は、41 角～15 角～25 と～12 香～71 香～22 歩～11 香のように限定されているわけですごいことだ。

《攻得ルール》

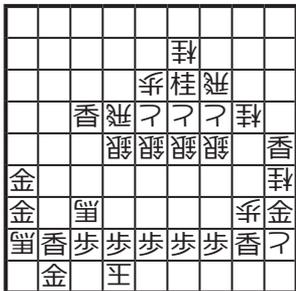
・駒取りが生じた時、取った駒と取られた駒は同時に盤上から消え、取った側の駒台に乗る。

\* 玉は敵駒を取れないものとする。

\* 詰将棋では通常王手義務があるため、駒取りで王手を掛けると盤上から王手を掛けている駒が消えてしまい、王手ではなくなるので注意が必要（例外はある）。

\* 作者の書き方ではこのルールが適用されるのが攻得駒で、すべての駒が攻得駒となるのが攻得詰のようだ。同じ号で出口氏は攻得ルールと対になる受得ルールも発表している。

7番 攻得詰 115手、Y-181  
(カピタン 35号、1987-1)

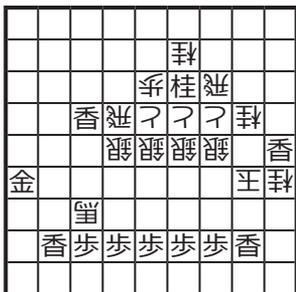


▲ 歩7

79金、59玉、69金、49玉、  
59金、39玉、49金、29玉、  
39金、19玉、A29金、同と、  
18金、29玉、19金、39玉、  
29金、49玉、39金、59玉、  
49金、69玉、59金、79玉、  
69金、89玉、79金、99玉、  
89金、同馬、98金、89玉、  
99金、79玉、89金、69玉、  
79金、59玉、69金、49玉、  
59金、39玉、49金、29玉、  
39金、18玉、29金、17玉、  
18金、26玉、27金 (中間1図、51手経過)

Aで18金と18とを取りつつ王手とすると、その瞬間18金が先手の駒台に乗ってしまうので、王手が解消されてしまう。つまり通常の駒を取る王手は王手にはならない！

中間1図



▲ 金歩8

イ27歩、B17金、口25玉、

26歩、ハ36玉、37歩、46玉、  
47歩、56玉、57歩、66玉、  
67歩、ニ76玉、86金、同馬 (中間2図、  
66手経過)

紛れ: B37金の方から打つと17玉で27金は王手にならず、18歩は打歩詰となり押す手がない。

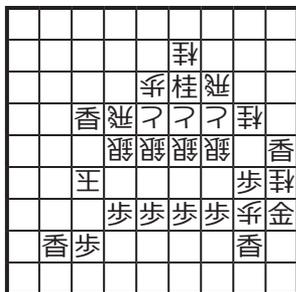
変化: イで28桂成は27金、25玉、26歩、同銀、26金迄。36玉は37金で詰み。27金合は26金と取ろうという意図だが実際に取るとその瞬間に消えてしまい、王手回避が出来ていないので意味がない (ハの変化参照)。角合は、作意どおりに進めて、終盤73香成のところで52角以下早詰。ただしもっと早く詰める順があるかもしれない。乞うご研究。

口で36玉は37歩以下作意通り進めて一往復後、46歩、35玉、26金迄。この26金を妨害するため事前に26歩を打たせておく理屈。

ハで同銀は26金迄。例えばイで27金合の場合も26同金とは取れない。他合の場合は26金に玉が駒取りをするしかなく詰み。

ニで同馬は67歩、75玉、85金、76玉、86金迄。また75玉は85金、76玉、75金迄。

中間2図



▲ 歩7

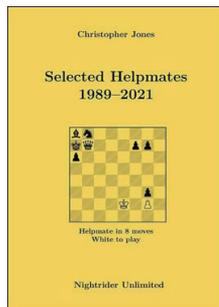
77歩、75玉、76歩、同銀、  
76歩、65玉、66歩、同銀、  
66歩、55玉、56歩、同銀、  
56歩、45玉、46歩、同銀、  
46歩、35玉、36歩、同桂、  
36歩、24玉、25歩、木同と (中間3図、90  
手経過)

(Continued on p.67)

# Book Review

## Christopher Jones, *Selected Helpmates 1989–2021*

評者：小林敏樹

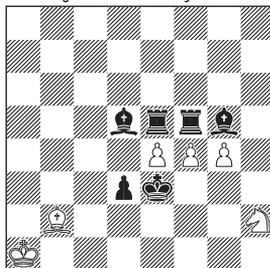


本誌でもおなじみのヘルプメイトのスペシャリスト、Jones さんの作品集が発行された。

若い頃からチェスのプレイヤーとして活躍し、プロブレムに接したのは大学時代。その後 British Chess Magazine のコーナーでヘルプに興味を持つようになるが、初めて作品が発表されたのは 1987 年だというから 30 代半ばになってからだ。2000 年頃から発表数が急激に増えており、Chess Problem DataBase で検索してみたならヘルプメイトだけで 1100 題もの数があった。本作品集には、その中から選りすぐりの 295 作（セルフヘルプ 12 作を含む）が収録されている。H#2 は一局もなく、大部分を占めているのは H#3 だ。本誌への発表作も 8 作収録されている。

本書の何よりの特長は、各作品について作者の解説が充実していることだろう。プロブレムの作品集では、作品のテーマだけをボツツと記載しただけの素っ気ないものが多いので、これは嬉しい。ジャッジには評価されなかったけれども実はお気に入りの作品や、FIDE Album に収録されたけれど小さな不満が残る作品。そのあたりについて、作者自身が語る「こだわり」が読みどころだ。

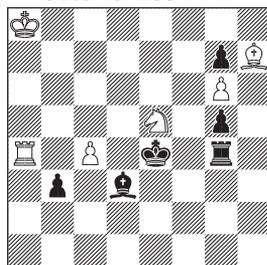
**A** Christopher J.A. Jones  
Csák-MajorosTourney 2004 1 Pr



H#3 2 sols (6+6)

A 図はごく易しい作品だが完璧な手順で、白 P のあしらいに Jones さんらしさが窺える。本作について作者が語るの、Rf5 の正当性について（P にすると別詰が生じる）。

**B** Christopher J.A. Jones  
Observer 2004 1 Pr



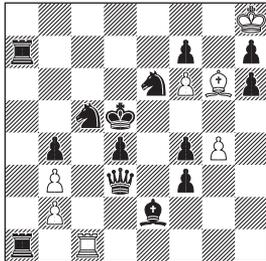
H#3 (6+6)  
b) Bd3→P

Jones さんの代名詞とも言えるのは R、B を使った H#3 で、2 つの解がきれいな対照

をなす作品だ。そのシンプルな例が B 図。K がいったんよろけて後ろにいる B、R を通してやるといふ、狙いとしてはそれだけなのだが、何とも美しい作品ではないか。白 S が B、R のいた場所に動く点も心憎い。

創作において、解を発見しにくくすることを常に意識していると言うように、Jones さんの作品はいつも解くのに苦労させられる。と言っても、ただ難しいというだけの作品はない。たとえ解けなくても、答えを見て「なるほど。こんな形でメイトが得られるのか！」という納得の手順が必ずある。だから、Jones さんの作品は世界の解答競技にうってつけで、本書には「解答競技で出題した作品」という章立てがあるほどだ。

**C** Christopher J.A. Jones  
Probleemblad 2003 1 Pr



H#3 2 sols (7+14)

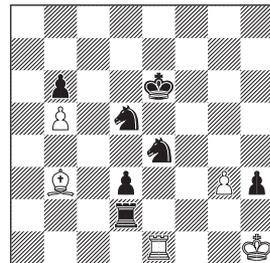
難しそうな作品の例として C 図。この手順はかなり見つけにくいのではないだろうか。配置は重苦しいが、このような凝った狙いの H#3 を作ろうとして、完全作（さらには推敲した最良図）を得るまでにどれだけの試行錯誤が必要なことか。作品集の図面を眺めていて、そこに費やした時間を想像すると気が遠くなってしまいそうだ。

Jones さんが敬愛する作家は Fadil Abdurahmanović と Toma Garai だという。Garai さんは借しくも 2011 年に亡くなられ

たが、本誌の創刊間もない頃に新作を投稿して応援してくれたヘルプメイトの大家で、独特のウイットのある作品に人気があった。派手なテーマを追求するのではなく、あくまでも手の味、手の組み合わせで魅せるという作り方は、Jones さんと共通するものがある。Garai さんは本誌第 5 号の投稿作品に添えて、次のようなコメントを寄せてくれた。「……ブロックだけとかいった単純な要素しかない手順で、小さくまとまったりしないように。一手ごとにあらゆる要素を織り込んでみる。その一手のいくつかの部分でもそう。駒をどこからどこへ動かすか、その二つの部分でそれぞれ意味付けを与えてやること。……」

これは Jones さんの作品にそのまま当てはまる。一手に複数の意味を与えることで、その一手で急に見通しが良くなることしばしばある。P が駒を取って斜めに動く時などにそれは顕著だ。多くの作品を作りこんで、ヘルプメイトはどう作るものかを知り尽くしているのだろう。そんな作者の傑作集を皆様にお勧めしたい。

**D** Christopher J.A. Jones  
Die Schwalbe 2016 2 Pr



H#3.5 (5+7)  
b) Sd5→c4

D 図は H # 3.5。いったいどこで詰むの？という形をしているが、あれよあれよという間に何も空間に詰型が現れる。驚くのは、この詰上がり表現するために、白の B、R

が黒の S2 枚の陰にいったん隠れてしまう演出をしていること。鮮やかというほかない。

■ 解答

< A 図 >

1.Kxf4 exf5 2.Re3 Ba3 3.Be4 Bd6#

1.Kxe4 fxe5 2.Be3 Sf3 3.Rf4 Sg5#

< B 図 >

a)1.Kf4 Ra6 2.Bxg6 Sd3+ 3.Kf5 Bxg6#

b)1.Ke3 Bg8 2.Rxc4 Sg4+ 3.Kd4 Rxc4#

< C 図 >

1.Qc4 Bb1 2.Bd3 bxc4+ 3.Ke4 Re1#

1.Sa4 Rc7 2.Sec5 bxa4 3.Kc4 Bxf7#

< D 図 >

a)1...Bd1 2.Kd7 Bf3 3.Sd6 Re8 4.Sc7 Bc6#

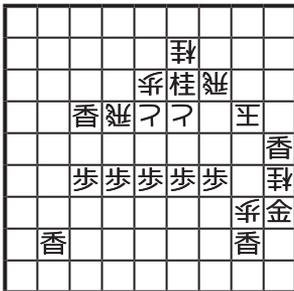
b)1...Ra1 2.Kf5 Ra4 3.Se5 Bf7 4.Sg5 Rf4#

出口信男の世界 続き

(Continued from p.64)

変化：木で 23 玉は 13 香成、32 玉、22 杏、41 玉、51 桂成迄。

中間 3 図



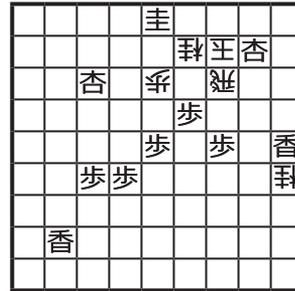
▲ 歩 2

C27 金、へ 25 金、14 金、34 玉、24 金、同金、35 歩、同と、

35 歩、44 玉、45 歩、同と、45 歩、54 玉、55 歩、63 玉、73 香成、52 玉、51 桂成、43 玉、44 歩、同飛、44 歩、32 玉、22 香成迄 115 手詰。

紛れ：C で普通に 27 香は王手にならない。金の方で 27 歩を取るのだが変わった王手。変化：へ 26 合(または 27 合)は 25 金、23 玉、13 香成、32 玉、22 杏、41 玉、51 桂成迄。また金合以外は 24 金を同金と取れずそのまま詰み。

(詰上り)



▲ なし

主題は連歩突き出し。一旦取られた後打ち直すのでちょっと違うが、フェアリー版の槍ぶすまの意図があったのではないかと。中間 2 図からの横送りの往復が作図の出発点で、序盤 9 段目の一往復半は序奏として後から付け加えられたと言うのが私の推理だがどうだろうか。中間 1 図の応手イが考えどころで、変化がすぐには詰まず読みが必要である。後手方の 2 枚の飛車は趣向手順を成立させる壁駒だが意外な防御力もあり、収束の手順を限定させている。なお本作は作者の希望で解付の例題として発表された。希少ルールなため目立たないが、出口信男が実力を発揮した傑作と言わざるを得ない。

## Definitions

### <一般的通則>

# : 最終目的がメイトであることを表示する。

= : 最終目的がスタイルメイトであることを表示する。

= = : 最終目的が双方スタイルメイトであることを表示する。

+ : 最終目的がチェックであることを表示する。

v : 紛れ (try) を表す。個数は、テーマとなる紛れの数を表す。

\* : Set Play を表す。オーソドックスやセルフメイトの場合は黒から指し始め、ヘルプメイトの場合は白から指し始める。作意手数から 0.5 手を引いた手数になる。

sols : solutions すなわち「解」のこと。指定された数だけ解があり、これは余詰ではなく、作意設定のうちに入っている。

b) c) ... : 問題図を a) とし、指定のように配置を変えた図を b) c) ... として、いずれも a) と同じ条件で解くこと。

Zeroposition : ツイン設定のために便宜上使われる図。この指定があるときには、問題図そのものを解く必要はなく、そこから配置を変えた図 a) b) ... のみを解くこと。

◆盤上にフェアリー駒がある場合、P はそのフェアリー駒にも成れる。

◆キャスリング可能な位置にある K と R は、それが不可能であるという証明ができないかぎりキャスリング可能とみなされる。逆にアンパッサン可能な位置にある P は、直前の手が取られる P が動いたものと証明ができない限りアンパッサン不可能とする。

### <問題設定>

**Direct** (記号無し) : #n では、白から指し始め、n 手で黒をメイトにする手順を求める。黒はそれに抵抗する。

**Duplex** : H#n(=n) において黒から指し始めて黒をメイトにする手順と、白から指し始めて白をメイトにする手順の双方を求めるもの。

**Help (H)** : H#n では、黒が白に協力し、n 手で黒をメイトにするような手順を求める。通常黒から指し始める。白から指し始める場合は、0.5 手分を引いた形で表記する。

**Helpself (HS)** : HS#n では、ヘルプで (n-1) 手指して、そこから S#1 になるような手順を求める。通常白から指し始める。

**Klan Retractor** : 逆算の際、駒の起点はその駒の持ち主が決定し、駒取りの有無と種類は白が決定する。黒は抵抗する。

**No Forward Defense** : Proca-Retractor など Forward Defense を禁じたもの。

**Parse Series-help (PSH)** : Series-help で、黒が連続して指す手順中にチェックをかけることもでき、その場合は直後に白が 1 手指す、としたもの。

**Parse Series-self (PSS)** : Series-self で、白が連続して指す手順中にチェックをかけることもでき、その場合は直後に黒が 1 手指す、としたもの。

**Proca-Retractor -n&#1** : 白から戻し始めて、n 手以内で、白が黒を 1 手でメイトにできるような局面を作るのが目的。黒は抵抗する。なお、黒にも白と同様、逆算してから 1 手詰にする権利がある。これを Forward Defense という。

**Proof Game (PG)** : 実戦初形から始めて、指定された手数で問題図に至るような手順を求める。

**Self (S)** : S#n では、白から指し始め、白が自分を n 手でメイトにさせるよう黒に強制する手順を求める。

**Series-help (SH)** : 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が 1 手でメイトなどの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけて

はならない。

**Series-helpself(SHS)**: 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が HS#1 などの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

**Series reflex (SR)**: 白が連続して指定された手数を指し、それから黒が 1 手で白をメイト (あるいはスタイルメイト) にできるような手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならないし、黒のキングを 1 手でメイトにできるような局面を作ってはならない。

**Series-self (SS)**: 白が連続して指定された手数を指し、それから黒が 1 手で白をメイト (あるいはスタイルメイト) にするよう強制される手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならない。

#### <フェアリールール>

**Alphabetical Chess (ABC)**: 盤面の柁目に a1, a2, … a8, b1, b2, … h8 という order が付いているとしたとき、すべての着手は、この order でいちばん a1 の近くにある柁目の自駒を動かさなくてはならない。

**Anda**: K を除く neutral ではない駒は、直接にチェックをかけたとき、neutral 駒になる。K を除く Neutral 駒は、直接にチェックをかけたとき、そのチェックをかけた側の色の駒になる。

**Andernach**: K 以外の駒は、駒を取ると色が変わって相手の駒になる。新しく発生した R はキャスリング可能。

**Annan Chess**: 俗に言う「安南」ルール。縦の筋に同じ色の駒が重なっているとき、上の駒は下の駒の働きになる。ただし、1 段目に P が移動するのは禁手。3 段目の駒が P の働きをすることによるダブルステップはできない。3 段目の駒が P の働きをすることによるアンパサンは可。

**Anti-Andernach**: Andernach とは逆に、駒取りではない手を指したときに相手の駒になる。細則は Andernach に準ずる。

**Anticipés**: 1 手で K を取れるか、2 手連続指せば K を取れるとき、その K にはチェックがかかっているとす。

**AntiCirce**: 駒を取るとき、取る駒 (K を含む) は初形位置に戻り、取られた駒は盤上から消える。取る駒の初形位置が何らかの駒 (取る駒と取られる駒を除く) によって占領されているときは、駒が取れない。細則は Circe に準じる。

**AntiCirce Cheylan**: 取る駒がその原形位置に着地するような取りは禁手とした Anticirce。

**AntiTake&Make**: 駒を取ったとき、取られた駒は同時にそこから移動する手を指さなければならぬ。その移動は、取られた駒の動き。

**Black Monochromatic**: Monochrome chess のルールを黒にのみ適用したもの。

**Black plays only to give double check**: 黒の着手は double check に限る。そのような手がない場合、白は連続して指せる。

**Breton**: 駒を取ったとき、取られた駒と同種の駒が (もしある場合) 1 つ、取った側から消える。その駒が 1 つ以上ある場合は、取った側が選択できる。

**Breton Adverse**: 駒を取ったとき、取られた駒と同種の駒が (もしある場合) 1 つ、取られた側から消える。その駒が 1 つ以上ある場合は、取った側が選択できる。

**Circe**: K 以外の取られた駒は初形位置に再生する。R および S の初形位置は取られた場所の色によって決まる。P の初形位置は取られた筋の 2 段目。フェアリー駒の初形位置は取られた筋の 8 段目。取られた駒の初形位置が何らかの駒によって占領されているときはその駒は通常通り盤上から消える。初形位

置に戻った R はキャスリング可能。初形位置に戻った P は 2 歩進むことが可能。

**Circe Malefique** : K 以外の取られた駒は相手側の同種駒の初形位置に再生する。細則は Circe に準じる。

**Diagram Anticirce** : 取った駒は問題図の初形位置に再生する。細則は Anticirce に準じる。

**Eiffel Chess** :  $P \rightarrow S \rightarrow B \rightarrow R \rightarrow Q \rightarrow P$  の順で、その駒によって取りをかけられていると動けなくなる。

**Equipollents Circe** : 取られた駒は、取られた位置から取った駒の取りの動きのベクトルだけずれた地点に復活する。最上段に復活した P は成り駒として復活する。

**Leffie** : Eiffel の反対。Eiffel Chess における paralysis が起こるような着手は禁手。

**Madrasi** : 同種の駒によって取りをかけられている場合、その駒は動けない。

**Make&Take** : 駒を取るとき、その駒はまず取られる駒の動き(取られる側から見た動き)で移動して、その地点から駒を取る。

**Masand** : チェック(開き王手を除く)をかけたとき、その駒の利きにある敵味方の駒は、K を除いてすべて色が変わる。

**Maximummer** : 黒は可能な手の中で移動距離(升目の中心から、中心までの距離)が最大の手を指すとする条件(複数存在するときには、黒はその中から選択できる)。キャスリングの移動距離は K,R の移動距離を足したもの(0-0 は  $2+2=4$ 、0-0-0 は  $2+3=5$ )。チェックおよびメイトの概念はオーソドックスと同じ。

**Messigny** : 自分の駒を相手の同種の駒と場所を入れ換えることができる。ただし、双方が連続して入れ換えることは不可。(これを本誌では欧州ルールと呼び、「2 度連続して入れ換えて元の局面に戻すことはできない」と制限を付けたものを日本ルールと呼ぶことにする。)

**MinDister** : 「距離」を指定された白と黒の駒の距離と定義したうえで、黒はこの「距離」を最小にするような着手の中から選択する。

**Monochrome Chess** : すべての駒は、その駒がいる同色のマス目にしか動かせないという条件。従って S は最初から動けない。キャスリングは 0-0 のみ可能。

**Point Reflection** : 盤の中央を中心にして点対称の関係にあるマス目の駒どうしは、色に関わらず、それぞれの性能が入れ替わる。1 段目にいる P はそれじたいでは動けない。1 段目の P と対称の位置にある駒も動けない。キャスリングとアンパサンは、通常の KR および P のみが行える。

**Relegation** : 2 列め(黒なら 7 列め)に戻った駒は P になる。

**Rifle** : 駒を取るとき、取った駒はその原位置を動かない。取られた駒は消える。

**Sentinels** : P 以外の駒を動かしたとき、その動く前の位置に同じ色の P が発生する。1 段目と 8 段目には発生しない。また、盤上の片方の P の総数は 8 枚を越えない。この P の発生による局面の合法性は問わない。

**Take&Make** : 駒を取ったとき、その駒は同時にそこから移動する手を指さなければならぬ。その移動する手は、取られた駒の動き(取られた側から見た動き)になる。P は 1 段目に移動できない。

**Transmuted Kings** : チェックをかけられた K は、その瞬間にチェックをかけた駒の働きをするというルール。特に断らない限り、このルールは双方の K に適用される。

**Vertical Millor Circe** : Circe Inverse と同じ。K 以外の取られた駒は、d/e 筋の境界線を軸にして、Circe で発生する位置と対称の位置に再生する。細則は Circe に準じる。

**WandelSchach** : 駒が 1 段目、2 段目、7 段目、8 段目に入ると、その原形位置の駒および色になる。K は変化しないが、何かの駒が e1 または e8 に入ることによって K になること

もある。

**White Sentinels = n** : sentinel の条件を白のみに制限し、さらに P の枚数が n を超えないとしたもの。

### <フェアリー駒>

**Argentinian Piece** : Argentinian Chess で使用する駒。動きは Chinese Piece、駒取りは orthodox piece で定義される (たとえば Q の代わりをする Senora は、動くときには Leo、駒を取るときには通常の Q)。

**Astrolog piece** : 盤の縁に行くとき色を変える駒。

**Contra Grasshopper** : Grasshopper のように 1 枚駒を跳び越した後、そのまま向きを変えずに、R または B のように動く駒。

**Equihopper** : 任意の方向に駒を 1 枚飛び越して、その線上で等距離の地点に着地する駒。線上に余計な駒が挟まっている場合、跳べないとした駒を単に Equihopper と呼び、跳べるとした駒を Non-Stop Equihopper という。

**Faro** : 動くときは Pao のように何か駒をひとつ飛び越え、駒取りのときは R と同じ駒。

**Grasshopper** : Q の筋で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

**Hunter** : Hunter X/Y は、前進する場合は X で、後退する場合は Y という駒。横には動けない。

**Imitator** : 着手と同じ距離・方向に動き、空いているマスに着地する駒。盤上の駒を飛び越すことはできない。Imitator の着地点が塞がっていたり、盤上に出てしまうような着手は禁手。

**Invisible** : 盤上に存在するが、見えない駒。駒種と位置の両方が確定した瞬間に、その透明駒は透明性を失い普通駒となる。駒取りやメイトは、証明なしには主張できない。メイトとは、解答手順を成り立たせるようななどの

ような Invisible の代入に対しても、最終局面が通常のメイトになっていることを指す。

**Leaper** : S の様な動きの駒の総称。(x,y)-Leaper は駒の居る位置から縦横に (x,y) または (y,x) だけ離れた地点に着地する。間に駒があっても飛越えられる。例えば S は (1,2)-Leaper。

**Leo** : Chinese piece の一つ。Q のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先 (直後でなくてもいい) にある駒を取る。

**Locust** : Q の筋で、相手の駒を 1 枚跳び越して、その直後の地点に着地する駒。着地点は空いている必要があり、かつ跳び越された駒は取られて消える (取りなしで動くことはできない)。

**Nao** : Nightrider のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先 (直後でなくてもいい) にある駒を取る。

**Neutral** : 白および黒のどちらからも動かせる駒。取ったり取られたりすることもできる。n の記号で表し、nQ という風に表示する。nP は成ると Neutral 駒に成る。ただし、普通の P が Neutral 駒に成ることはできない。フェアリー駒が盤上に現れている場合は、nP はその Neutral フェアリー駒に成れる。

**Nightrider** : (1,2)-Rider。

**Pao** : Chinese piece の一つ。R のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ跳び越してその先 (直後でなくてもいい) にある駒を取る。

**Psycho** : (R+B+S) の 3 種を合体した駒。ただし、たとえば直前の動きが S であったとすれば、次の瞬間には S の機能を喪失して (R+B) の機能になる。この場合を Psycho-S と書く。キャスリングには使えない。

**Quintessence** : 跳ぶたびにジグザグで 90 度向きを変える Nightrider。たとえば a1 にいる Quintessence は a1-b3-d2-e4-g3-h5 というジグザグ線上を跳ぶ。

**Rider** : RやBなど一定の方向にどこまでも進めるが駒にぶつかるとその先には進めない駒の総称。(x,y)-Riderは進める方向が(x,y)-Leaperの延長となる。例えばRは(0,1)-Rider。

**Rook-Hopper** : Rの筋の線上で、一つ駒を跳び越して、その直後の地点に着地する駒。着地地点に敵の駒があれば取れる。

**Rook-Locust** : LocustをRの筋に限定した駒。

**Saltador** : Argentinian ChessにおいてSの代わりをする駒。経路の2箇所がブロックされている場合には、駒取りなしで跳べる。経路の2箇所がブロックされていない場合には、跳んで駒を取れる。

**Senora** : Argentinian ChessにおいてQの代わりをする駒。動くときにはLeoのように何か駒をひとつ飛び越え、駒を取るときには通常のQ。

**Vao** : Chinese pieceの一つ。Bのように動くが、駒を取るときはその線上で駒の一つ跳び越してその先(直後でなくてもいい)にある駒を取る。

**Total Invisible** : 駒種と位置のみならず、色もわからない透明駒。細則はInvisibleの項に従う。

**Yggdrasil piece** : この駒は、同じ側の駒にしか取られない。

**Zebra** : (2,3)-Leaper。

## 98号解答成績

	D	E	H	S	F	R	U	計
Max	50	35	120	20	180	10	15	430
内田 昭	20		25		5			50
及川弘典	40		120	10	37		15	222
小畑 勉	30		17.5					47.5
黒川智記	44		20	20			15	99
塩見 亮		1	15					16
須川卓二	50		102.5	20	33		15	220.5
則内誠一郎	40	10	120	10	130	5	15	330
太刀岡甫	50		97.5	10	95		15	267.5
中嶋正和	44	8	45	17.5			10	124.5
原岡 望	5						5	10
水野勝久	15		21		5			41
宮嶋亮一	5							5
吉田直嗣			50				15	65

## 第 19 回 International Solving Contest

### のお知らせ

第 19 回の International Solving Contest (略称 ISC) が来年の 1 月に世界各地で同時開催されます。多数の方々のご参加をお待ちしています。

主催：JCPS

後援：NCS

日時：2023 年 1 月 29 日 (日)

受付：午前 9 時 15 分から

競技開始：午前 9 時 45 分から

(いつもより少し早くなっておりますのでご注意ください。)

場所：大田区産業プラザ PiO 6階 C 会議室  
東京都大田区南蒲田 1-20-20

(TEL) 03-3733-6600

交通：京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約 3 分または JR 京浜東北線、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩約 13 分

参加費：1500 円

(カテゴリー 3 参加者は無料)

競技方法：

カテゴリー 1 (上級向き)、カテゴリー 2 (中級向き) カテゴリー 3 (ジュニア向き) に分かります。カテゴリー 1 と 2 は、2 時間のラウンドを 2 回。カテゴリー 3 は 2 時間のラウンドを 1 回。

カテゴリー 1 は #2, #3, #n, endgame, H#, S# それぞれ 2 題ずつ計 12 題。

カテゴリー 2 は #2 が 4 題、#3, #n, endgame がそれぞれ 2 題ずつ、H#, S# がそれぞれ 1 題ずつで、計 12 題。

カテゴリー 1 と 2 はレーティング対象となります。

12 歳までのジュニアを対象にしたカテゴリー 3 は、#2 が 4 題、#3 が 1 題、

endgame が 1 題の計 6 題です。午前の第 1 ラウンドで終了します。駒数の少ない、初心向きの問題が出題されますので、チェスプロブレムを解いてみようというジュニアの方の参加をお待ちしています (保護者の方の同伴もオケーです)。

過去問はこちらをご覧ください。

<https://www.wfcc.ch/competitions/solving/>

スケジュール：

第 1 ラウンド 9:45-11:45

第 2 ラウンド 12:45-14:45

解説会+表彰式 15:15-17:00

賞：それぞれのカテゴリーで上位 3 名にチェス書籍を贈呈。

参加申し込み：参加カテゴリー、および連絡先の電話番号を明記のうえ、メールにて若島まで。2023 年 1 月 25 日 (水) 必着。

注意事項：

盤駒は必ず各自でご用意ください。

ラウンドの間に 1 時間の休憩がありますが、昼食は用意しておりません。



*Problem Paradise*  
The Journal of Japanese Chess Problem Society  
(<https://problem-paradise.com/>)

JCPS 会長 : 橋本 哲 (President: Satoshi HASHIMOTO)  
編集長 : 若島 正 (General Editor: Tadashi WAKASHIMA)

表紙デザイン : 吉野 隆 (Cover design: Takashi YOSHINO)  
ウェブ管理人 : 前嶋啓彰 (Webmaster: THiroaki MAESHIMA)

セクション担当者

Direct mate : 菊田裕司 (Yuji KIKUTA)  
Endgame Study : 塩見 亮 (Ryo SHIOMI)  
Helpmate : 藤原俊雅 (Toshimasa FUJIWARA)  
Selfmate : 前嶋啓彰 (Hiroaki MAESHIMA)  
Fairies : Vlaicu Crisan  
Retro : 松崎直樹 (Naoki MATSUZAKI)  
Shogi : 會場健大 (Takehiro AIBA)